



第26号

編集発行

園田学園女子大学

シニア専修コース

「けやき便り」

編集クラブ

with コロナ時代の学び シニア専修コース再開にあたって

園田学園女子大学
園田学園女子大学短期大学部
学長 大江 篤



新型コロナウイルス感染症によるパンデミックからの2年間、シニア専修コースをはじめ生涯学習講座を中止いたしました。受講生の皆様の命と健康を守りながら、学びを継続していただけるよう、オンラインでの特別講座を開催いたしました。人と人の深いコミュニケーションを持つ機会が少なくなることは否めませんでした。今年度は、with コロナを見据え、シニア専修コースを再開することにいたしました。

人生100年時代といわれる現代は生涯学び続けることが大切です。また、Society 5.0という新しい社会の到来を目前にし、これまでの常識にとらわれない多様で多彩な学びが求められています。単に新しい知識を得るだけではなく、自ら考え、新しい価値を創造し、地域を活性化し、一人ひとりが幸せになる社会を目指さなければなりません。

私が専門とする日本民俗学の創始者、柳田國男は、学問、研究について次のように語っていたといわれています。

およそ人間がすることで、ことに多くの人がともにすることで、その理由がないということがらはないはずである。その理由があったかは、ただわれわれが忘れてしまったというだけで、歴史の研究というのはそれを思い出す作業にすぎない。…住民の一人一人が、自分たちがやっていること、考えていることの由来と意味とをよく考えて、その価値を判断できれば、民俗学の目的は達せられる。

大学の教室のなかでの学びはもちろんのこと、日々の暮らしのなかでも学びを確立していただければと思います。

園田学園女子大学での学びのキーワードは「気づき」と「つながり」です。本学は地(知)の拠点として、最先端の研究を基礎に、<いま><ここ>でしか学ぶことのできない講座を開講しております。本学での学びを通して、多くの「気づき」を得ていただければと考えます。また、ご縁があって学びの場をともにする方々や先生方をはじめ、多くの「つながり」が生まれることを期待しております。

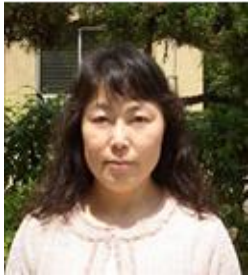
目次

withコロナ時代の学び	園田学園女子大学学長 大江 篤	P1
目次		P2
先生方からのメッセージ	講師の先生方	P3～P6
祝祝+懐古	(文歴)先生 芹 澤 剛	P7
古い文書ファイルを開く	(情報)先生 小田桐 良一	P8
鬼が温泉を守る	(国際)先生 樽 井 由 紀	P9・P10
令和4年度入学式	編集クラブ	P11
新入生誌上座談会	編集クラブ	P12・P13
2年2カ月ぶりの授業	国際2年 鈴木 好夫	P14
学内探訪	編集クラブ	P15・P16
「わが人生に悔いなし」～石原裕次郎と人生賛歌映画～	文歴2年 田中 祐二	P17
46億年「生命誌の階段」	研究生 井上 聖明	P18
チェコで見つけた『エルベの誓い』(?)記念碑	文歴2年 松原 光治	P19～P21
尼崎城でいろんな体験をしました	研究生 阪田 正樹	P22
「私の川柳修行」ーきっかけはコロナ禍の暇つぶしだったー	国際1年 濱口 祐一	P23・P24
フォト39会・フォトけやき会ブログ掲載作品	研究生 木村 勲	P25・P26
コロナ禍のシンガポール	国際1年 角口 博敏	P27
「My Villa」として旅館に泊まる	研究生 中村 米三郎	P28
「身分帳」を読む	文歴2年 田中 祐二	P29
大河ドラマで歴史を学ぶ?	研究生 高山 純子	P30
ここは私のパラダイス パート2	研究生 徳田 將之	P31・P32
「よもやま話の会」報告	研究生 三木 静子	P33・P34
《ざっきちょうから》韓流ドラマ	研究生 金森 扶美子	P35
文学歴史学科9期生の同期会	研究生 木下 俊造	P36
(私の作品)「絵とことば」	研究生 今西 信子	//
(私の作品) 水彩画	国際1年 山根 邦男	P37
(私の作品) 書「和泉式部続集切」	研究生 大東 真知子	P38
(私の作品) 写真「7月のイメージ」	国際1年 富田 宏和	P39・P40
(私の作品)「絵とことば」	研究生 伊藤 幸子	P41
[クラブ・同好会 状況報告](遊歩・IT・テニス・軽音楽・ゴルフ・カラオケ・朗読)		P42～P47
社会連携推進センターからのつぶやき	社会連携推進センター所長 榎本 匡晃	P48
社会連携推進センターからのお知らせ	社会連携推進センター	P49
編集後記	編集クラブ	P50・P51

シニア専修コースでご指導を頂く先生方から メッセージ

(敬称は省略、順序はあいうえお順。後期ご担当で本号に掲載されていない先生は、次号に掲載させていただきます。)

1 段目	名前	2 段目	写真	3 段目	役職名
4 段目	担当科目	5 段目	メッセージ		

文学歴史学科					
桑原 一歌 (くわはら もとか)		芹澤 剛		中村 直人	
					
本学非常勤講師		本学教授		関西大学非常勤講師	
日本文学 (2) 日本古典文学研究		日本文学 (1)		日本史学 (2) 戦国大名とその時代	
まだ油断はできないものの、世の中には活気が戻ってきました。学ぶことができる、人と集まることができる、という幸せをかみしめるこの頃です。日本の古典文学をたどる道のりを一緒にします。		今から千年以上も前の人が書いたものについて、ああでもない、こうでもないと考える贅沢な時間。皆様の話のタネにでもなりましたらうれしい限りです。		日本中世史(寺院史)を専門としています。授業では、鎌倉時代から戦国時代の歴史について扱います。時代の制約の中で、先人達はいかに生きてきたのか。私自身考えながら、皆さんに提示することができたら幸甚です。	
原 朋志		松本 充弘 (あつひろ)		吉村 綱 (しげる)	
					
関西学院大学 文学部 非常勤講師		神戸大学院 人文学研究科 特命助教		本学名誉教授	
日本史学 (1) 奈良・平安の人物と政争		日本史学 (3) (前期)		日本文学 (3) (前期)	
日本古代史、主に飛鳥・奈良時代を専門としています。一般的にはあまり人気のない時代ですが、興味深い人物や事件を、史料を元に紹介していく所存です。よろしくお願いします。		感染症の流行に戦争に…と大変な世の中です。 歴史学の対象は過去に起きた出来事ですが、それは絶えず現在の関心に規定されるということを意識して史料を読みたいと思っています。		人生を切り取る「文学」『そのだシニ専』で「文学」に触れ、眉根にしわを寄せ、涙腺をゆるめ、そしてうなずく刻を楽しんで下さい。	

国際文化学科		
窪田 暁	玉城 毅	樽井 由紀
		
奈良県立大学准教授	奈良県立大学教授	奈良女子大学非常勤講師 京都民俗学会理事 日本温泉地域学会幹事
文化人類学入門（前期）	アジア太平洋文化論（前期）	国際総合研究
久しぶりの対面授業で、直接お会いできるのがうれしい限りです。好奇心に引退はありません。一生、現役の気持ちで探求を続けてください！	世界と自己に対して心を開き、常に新鮮に向き合う、そのような学問を実践したいと考えています。	受講生の皆様の飽くなき好奇心、新しい知識への積極的な態度にいつも感心しております。 授業ではあまり語られなかった、人種的・性的マイノリティ、非白人移民、ジェンダーにも視点をおいてアメリカの歴史と文化を紹介します。皆様との出会いや交流に感謝です。
松山 利夫	山口 悟	
		
平安女学院大学特任教授	大阪学院大学教授	
多文化共生論 日本の風土と文化Ⅰ（前期） 日本の風土と文化Ⅱ（後期）	国際地域文化 西洋史概論	
仲間をふやしましょう！知的な雰囲気を楽しみましょう。	歴史を楽しみましょう。	

情報学科		
小田桐 良一	垣東 弘一	難波 宏司
		
本学教授	本学教授	本学非常勤講師
情報特論（前期） インターネット活用（前期） プログラミング（後期）	基礎情報（前期） ICTリーダー技法（後期）	課題研究 プログラミング（前期） 基礎情報（後期）
情報特論では、コンピュータでプログラムが動くことの理論の導入的な内容や、ブラウザ上で動作するビジュアルなプログラミングでの実習を担当します。プログラミング（後期）では、コンピュータに実行させたい事項を考えながら取り組みます。	私たちを取り巻く情報環境は日々変化しています。そしてインターネットを利用したサービスは日常になくてはならないものになりました。情報の分野は広いですが、しっかり学んで人生を豊かにしていきましょう！	本年は、情報を「技術」ではなく、「文化」として学んで行きたいと思っております。まだまだ、未熟ですがよろしくお願いいたします。
堀田 博史	山本 恒（ひさし）	米田 浩
		
本学教授	本学名誉教授	本学非常勤講師
インターネット活用（後期）	応用演習Ⅰ（前期） 応用演習Ⅱ（後期）	基礎演習Ⅰ（前期） 基礎演習Ⅱ（後期） 応用情報（前期）
Society 5.0 社会の情報技術の進化は著しく、高速な情報通信ネットワークを如何に効果的に活用するかが求められています。生活を豊かにするインターネット技術とその活用について一緒に学びましょう。	学びは人生を豊かにします。特に自ら考えながら試行錯誤を繰り返して得た知見は、いろんな場面で応用できるものになります。また、せっかく共に学んでいるのですから、共に高めようとする学び方も大切です。コロナでいろいろ制約もありますが、工夫して一緒に授業を作り上げていきましょう。	GIGAスクール構想で、小学生も1年生から1人1台の端末を持って学習で活用しています。それも驚きですが、本学で学んでおられるシニアの方々の熱意はそれ以上です。私も含めて、共に学び続けていきましょう。

情報学科		共通選択
植田 みどり	中石 利奈 (りな)	浅田 慈照 (じしょう)
		
情報教育センターTA	情報教育センターTA	高野山真言宗本山布教師
基礎演習Ⅰ、情報特論 課題研究 プログラミング(1)、(2)	応用情報(前期)、応用演習Ⅰ 応用情報(後期)、応用演習Ⅱ ICTリーダー技法	peel off 座禅入門Ⅰ(前期) peel off 座禅入門Ⅱ(後期) ～座禅でメンタルヘルスケア～
授業や自習中にパソコンのこ とで分からないことがあります たら気軽に質問してください。 一緒に考え解決するお手伝い ができればと思います。よろし くお願いします。	パソコンって、すごく難しそ うだし壊してしまいそう・・・な んて思われず、たくさん使って みてください。ご不明な点があ ればご遠慮なくお声をかけを！ みなさまがよりパソコンを楽 しめるサポートを心がけてまい ります。	座禅は感情の制御法ではな く、感情の処理をスムーズにす るものです。皆さんとご一緒し て、智慧と座禅を車輪に前進し たいと思っています。
共通選択		
坂元 悠子	谷川 泰教	宮城 洋一郎
		
本学非常勤講師	高野山大学名誉教授	種智院大学特任教授
万葉集入門	仏典を読む	仏教の歴史と思想
この講義では、『万葉集』の 歌の解釈を行います。皆さんと 一緒に、現代に伝わったテキス トに書かれた言葉を一つ一つ読 み解くことを通して、歌の魅力 を学んでいければと思います。 よろしくお願いいたします。	書店では一般向けの仏教書や ブッダに関する本を多く見かけ ますが、できるならブッダのナ マの言葉に近いものを自分の目 と心で読んでみたいものです。 そのお手伝いができたらと願っ ています。	大和の古寺を巡りながら、仏 教の歴史と思想を学んでいきま す。難解な教義を分かりやす く、歴史的に解きほぐしなが ら、仏像の美しさにも触れてみ たいと思います。

先生からの寄稿文



祝祝＋懐古

日本文学(1) 芹澤 剛

祝！シニア専修コースが再開されました。この2年間、まだかまだかとお待ちくださったことと思います。お待たせしました。今しばらくは学内活動に少しの不自由が残ることと思いますが、ともかくも教室で顔を合わせてともに学べることを喜びたいと思います。

祝！今年はコースの20周年にあたるということで、本学教員としましては、ご同慶の至り、専修生の皆さんとともに、これもまた喜びたいと思います。

加えて、コース運営を実際に担ってきた関係教職員の皆さんにはこの場をお借りして、長年のご尽力に敬意を表します。コース再開にいたる過程について、耳にする機会も何度かあり、そのたびにさまざま知恵をしぼる姿を見てきました。そのような思いの積み重ねのうえに、教室での私たちの時間があります。引き続きどうぞよろしくお願いします。

さて、一区切りを迎えたときによくするのが「回顧」ですが、コースの20年の回顧は私にはとてもできません（実は、私がコースの授業を担当するのは、2004年以来今年が2回目です）。そこで、まことに勝手ながら、ここでは私自身のことを中心に、20年前を気楽に「懐古」させていただくことにします。独り言のようなものにお付き合いいただくのは大変気が引けますが、ご容赦くださいませ。

20年前の2002年、本学は、すでにあった国際文化学部・短期大学部に加えて人間健康学部を開設しました。新しいこの学部は総合健康学科、食物栄養学科、幼児教育学科の3学科で始まりました（今は幼児教育学科が児童教育学科になっています）。また、国際文化学部も文化学科、言語コミュニケーション学科に加えて情報コミュニケーション学科を開設し、3学科になりました。これで大学全体は、国際文化学部3学科、人間健康学部3学科、短期大学部2学

科の組織になりました。

文学・歴史の教育研究は、もっぱら国際文化学部文化学科が担っていました。シニア専修コースや公開講座などでも文化学科の教員の役割が大きかったと思います。私は、同じ学部の言語コミュニケーション学科に所属し、日本語・日本語教育分野の授業を担当していました。この分野の教員が4名おり、一つの学科にこの人数がいるのは珍しく、贅沢なことでした。

このころ、公開講座などで私はどのようなことをしていたのか、古いファイルを開いてみました。

・「『笑い』を読む」（2000年）。醒睡笑・当世手打笑・当世はなしの本・鹿の子餅・聞上手など近世の笑い話の作品を読んで知識階層と庶民階層の笑いを対比しながら楽しみました。

・「『富』をめぐることば」（2001年）。漢字「富」の成り立ちや意味、古代から現代にいたる日本語の「富」の使い方を追いかけて私たちの富の意識を考えました。

・「恋のことば一意味と用法の移り変わり―」（2002年）。「恋」「恋ふ」について、万葉集から徒然草まで古典13作品での使い方を追いかけて、意味の変化を考えました。

・「『いちじく』の背景―表記をささえたものは何か―」（2002年）。「いちじく」「いちぢく」の表記を例に、語を平仮名で書く際の考え方と日本語の発音の変化を取り上げました。

・「意志と行動の女性たち―説経の女性像―」（2004年）。説経作品の山椒大夫・小栗判官・信徳丸に描かれたタクマシイ女性の言葉と姿を追いかけてみました。

こうしてみると20年ほど前のことですが、ついこの前のことのように思い出されます。

シニア専修コース40周年もすぐそこです。

（写真は本学HPより）

先生からの寄稿文

古い文書ファイルを開く

情報特論、インターネット活用
小田桐 良一

コロナ禍となるほんの少し前の頃に、大学院時代の修士論文の題目や、当時に発表した論文の概要を書いた文書を探す必要がありました。20 年と少しは経ちますが、大学の研究室を離れるときに後輩の院生達にお願いをして作成してもらったバックアップ CD から、ファイルの作成日あたりをつけた文書ファイルを探すことになりました。

20 年～25 年前の当時、印刷まで行う文書作成については PC (NEC の PC-98 シリーズが主流です) の一太郎で行うことが、まだまだ普通に行われていた頃です。ですが、発表論文やゼミでの発表資料を始め、研究室での日常の印刷物は日本語 LaTeX (ラテック) で作成をしていました。大学院生になりたての頃に、大学の情報処理センターの年報に掲載されていた TeX (テック) の記事を見て、研究室でも綺麗な文字で印刷をしたいと思っていました。そんな折、指導教官が日本語 PostScript 内蔵のレーザープリンタを購入したタイミングもあり、許可を得て自分で研究室のワークステーションに日本語 LaTeX を導入し、研究室のみんなが使えるようにしたからです。当時はインターネットで検索するための検索エンジンも研究段階で世の中的には存在していません。研究室にあるコンピュータソフトウェア技術系雑誌のバンクナンバー 2～3 年分くらいを読みあさりながら調べるのが中心です。既に日本語 LaTeX を導入済みの研究室に配属されている友人にいろいろと質問もしたりしながらで結構な時間がかかりましたが、何とか図形も取り込んで印刷可能な環境を構築しました。

日本語 LaTeX で作成する tex ファイルの中身は文字情報のみのテキストファイルです。ワークステーションで作成していた tex ファイルを (macOS や Windows の) コンピュータで読み出してみました。日本語の文字コードが EUC (拡張 UNIX コード) であつたり、改行コードが PC のルールと異なったりしますが、今時の (PC の) テキストエディタで

は、ファイルを開く前にエンコードの変更を提案してくれたり、自動的に正しく表示できるように変換してくれます。tex ファイルが読めることが分かれば、後は書いた文章から必要であろう箇所を探すだけです。目的が達成できそうで少し安心できました。保管してある CD-R で作成したバックアップ CD がきちんと読み出しができるという条件は付きませんが、テキストファイルであれば、25 年くらい経っていても中身を読み出して中身を確認することは大丈夫なようです。このように、テキストのデータと文字コードや改行コードを正しく表示させるように変換可能な環境があれば古い内容を探し出せますので、今後もテキストのデータは残っていくのだと確信をしました。

安心をしたついでにと、プリンタへの印刷用に保存してあった PostScript で記述された PS ファイルが表示できるか、幾つかファイルを開いて試してみました。当時は PDF の規格そのものが公開もされていませんが、PostScript も PDF も同じ Adobe 社の規格ですので、PS ファイルを読み込んで自動的に PDF ファイルに変換して表示をしようと処理をしてくれました。ですが、「フォントがありません」となりました。これは、当時の日本語 LaTeX で使える日本語フォントがプリンタに内蔵された 2 書体くらいしかなかったことと、PS ファイルを生成する際にフォントを埋め込んでいないのが原因だと考えられます。それではと、試しに直接 PS ファイルを読み込める Adobe の Illustrator で開いてみようと、最初の 1 ページのみがデフォルトのフォントに置換されて、どうにか表示することができました。古い PS ファイルはそのままでは表示や印刷のできない場合もありますが、文書だけならば tex ファイルから印刷用に PDF ファイルを作成し直せばよいこと分かりました。

実は、いろいろと tex ファイルを開いては該当するファイルでなかったとかを繰り返しているとき、CD とは別のフォルダ内に 18～19 年前に Word 97 で作成していた、今回探し求めていた論文の概要をまとめて書き出しておいた文書ファイルが見つかりました。これはすんなりと Word 2016 で開くことができました。特段に新しい機能を使っていない Word の文書ファイルも、案外これからも残っているようです。

先生からの寄稿文

鬼が温泉を守る

登別温泉

国際総合研究 樽井 由紀

地獄は怖い

火傷するほど高温の熱気が大地からもくもくとあがる風景を、昔の人々はまさにこの世の地獄と恐れしました。温泉県を名乗る大分県の別府温泉には7つの異なる温泉の色を楽しむ「地獄めぐり」があり、人気の観光コースになっています。地獄があるのは大分だけではありません。北海道の登別温泉、群馬県の草津温泉や万座温泉、長崎県の雲仙温泉など、全国の火山性温泉では水蒸気などを含む火山ガスがあらこちに白い煙が噴出しており、「地獄」や「地獄谷」と呼ばれます。地熱や火山ガスにより草や木など育たず、岩の表面がむきだしになっている不気味な光景も地獄のイメージと重なるのです。

そして地獄の煙の奥には鬼がこん棒をもって立っているのです。でもでも、そんな鬼だって、たまにはいい湯だなとくつろぎたいはず。……というわけかどうかわかりませんが、「地獄谷」のある登別市では、市制施行50周年を記念したロゴマークに鬼が温泉に浸かるデザインが採用されています。



登別市 HP より

さらにこの登別温泉では2000年8月、「全国鬼サミットのぼりべつ2000」が登別市の呼びかけにより開催され、日本の鬼の交流博物館がある京都府大江町をはじめ三重県上野市・長野県鬼無里村など、12市町村100人近くの「鬼」にゆかりのある市町村が集りました（市町村名はすべて当時のもの）。

登別温泉の入り口では親子鬼像が、また、温泉街への途中にある閻魔道では閻魔様のからく

り人形が観光客をお迎えします。クマ牧場の近くには湯かけ鬼蔵がありますので、無病息災、諸病平癒を祈り、霊験あらたかな温泉の湯を鬼像に掛けましょう。地獄谷の入り口には祠があり江戸時代から伝わるという「念仏鬼像」が祀られています。その両側に大きな赤鬼立像と青鬼座像が祠をお守りしています。温泉街の3カ所に鬼のモニュメントがあり、温泉のお祭りにも鬼が登場するなど、登別温泉は鬼と深い関係があります。

登別温泉の歴史

江戸中期の探検家最上徳内が記した『蝦夷草紙』に「ノホルヘツという小さな河が有る。上流の山奥に硫酸の山があり、温泉が湧き出ている。谷々より流れが集まり一つの河と成りこのノホルヘツに流れ出て来る。この河の水は白粉と紺青を混ぜ合わせたような鼠色で、小さな河だけれども濁っていて底は見えない」と書かれています。

蝦夷を北加伊道（北海道）と改称するべきだと提案した松浦武四郎は蝦夷探検の途中に登別温泉を弘化2（1845）年と安政5（1858）年の2度訪れ、「東蝦夷日誌」に2度目の訪問時に目にした温泉利用の様子を記しています。「幌別を少し過ぎるとヌプルベツフト（登別川）という温泉の川がある。ヌは湯、プルは強いという意味である。坂を少し降りると温泉場があり、今では宿もできて、湯治をする人もいる。ムシロを川の中に敷いて温泉に浸かるが、その上に屋根もある。西から流れるシュンベツという水の川と東から流れるクスリサンベツという熱湯の川を混ぜ合わせて適温になっている。」川の上に屋根もあり、簡素ですが既に温泉としての形ができてるのがわかります。硫黄泉で

薬効があること、医療の仏である薬師観音の祠があることも書かれています。

これは、地獄谷から硫黄の採掘を行っていた岡田半兵衛が共同浴場の形を整えたもの。明治21年、滝本金蔵が湯守となり、私費を投じて道路を整えたおかげで、多くの湯治客を迎えることになりました。そして明治末期、日露戦争の傷病兵保養地として指定されたことで、広く名前が知られることになり、その後登別温泉は観光地として発展していきました。

温泉の祭り

登別温泉の「登別地獄まつり」は8月に開催されます。この祭りは地獄の釜のふたが開いて、閻魔大王が鬼たちを引き連れて登別温泉を訪れるという伝説が元になっています。伝説に従い、閻魔大王像のからくり人形を乗せた山車（約6メートル）が湯鬼神（ゆきじん）と呼ばれる鬼に扮した数人に寄り添われ、登別温泉極楽通りをパレードをして祭りを盛りあげます。

祭りのクライマックスの地獄谷花火大会には太鼓とドラの音が鳴り響く中、湯の守り神『湯鬼神』が登場。『湯鬼神』たちは人々の無病息災を願う舞を踊り、集めた厄を詰めた手筒花火を、天高く放ちます。

湯鬼神は太鼓を打ち、舞い踊り、手筒花火の火炎で人々のさまざまな厄を拾い、焼き、幸運を願ってくれる人間に優しい鬼です。多くの温泉では泉源の近くに薬師堂が建てられ、薬師が湯を守り、人々は病の仏である薬師に病を癒してもらい願いを込めて手を合わせます。登別温泉では薬師の代わりに鬼が湯を守り、鬼が人々のすべての厄を払う神とされています。秋田県男鹿半島に伝わるナマハゲは神の性格と鬼の恐ろしい性格の両方を持つとされます。登別温泉の鬼も鬼の姿をしながら、神であることを表しているのかもしれませんが。



登別地獄祭りのポスター

第一滝本館 HP より



登別温泉の地獄谷



地獄谷の鬼花火

令和4年度シニア専修コース

3年ぶりの 入学式

4月22日の10時から、令和4年度のシニア専修コース入学式が、感染症対策を講じた上で、AVホール(3号館2階)で執り行われ、大江学長から新入生の代表へ入学許可書が授与されました。

令和4年度の新入生は、2年間のシニア専修コース休止を経て入学された、文学歴史学科14名、国際文化学科17名、情報学科7名の38名です。

入学式の後には、新入生の皆様が豊かな学園生活が過ごせるよう、ハンドブックをもとに、3学科合同でオリエンテーションが行なわれました。



大江学長式辞



齊藤理事長祝辞



榎本所長挨拶



オリエンテーション

式典後は新入生オリエンテーションが行われ、講座履修、レントゲン撮影申込み方法、生協加入、図書館利用の手続き等説明がありました。新入生の皆さまは緊張した面持ちの中でも、2年間のコロナ禍をくぐり抜けて今日の日を迎えられたことに喜びをかみしめておられました。

シニア専修コースによろこ

令和4年(2022年)度 新入生誌上座談会

これから3年間 ともに楽しく 学びましょう！

「けやき便り」編集クラブでは、新入生の5名に代表で、入学に向けての動機、感想などを、アンケート形式で集約し、「誌上座談会」としてまとめました。

《参加者》 角田 晴夫(文歴) 濱口 祐一(国際) 松本 健志(情報)
大前 晴美(文歴) 早川美佐子(国際)

▼▼入学した動機を教えてください

大前 日常生活に流されず読書を楽しむ環境や自分の時間を作りたかったのと、自分が今まで興味を持たなかった作品や歴史を学ぶことで新しい発見があると期待しています。試験等がないので気持ちの負担無く快く学べるとの思いもありました。

松本 阪神シニアカレッジを受講していた頃から、園田学園の生涯学習のことを聞いておりました。カレッジを卒業するにあたり学園のウェブサイト調べ、情報学科があることを知り、学科に魅かれて受講することに決めました。

早川 常々シニア教育を受けたいと思っていたところ、園田シニア専修コースを知り入学しました。一人の講師が担当されることで、一貫性のある学習が深められるところが良いですね。

濱口 日頃の新聞のつまみ読みや本の乱読では知識は身につかず、1年単位の体系的な授業を受講することが真の“学び直し”になると考えました。

角田 70才まで生かされると、終盤は人生を変えないと飽きると思いました。

▼▼やりたいこと、挑戦されたいこと

角田 挑戦という程大げさなものではなく、この学びの先にどんな自分が待っているかを見たいです。

松本 現役時代から仕事でパソコンやOfficeソフトには慣れ親しんできましたが、今流行のSNSやスマホアプリは食わず嫌いの拒否感があ

って、よく知らない世界です。

講義を通じて、これらのアプリを体系的に学びたいと思っています。

濱口 3年間の授業を通して、文化人類学の斬新な切り口、問題解決の手法を学び、人マネでない自分の意見を堂々と言える人間に成長したい。

早川 いろいろ新しいことを知り、知識経験を広げ積極的に自分の活動に取り入れていきたいと思っています。

大前 学園生活を楽しむのはもとより、せっかく大阪府八尾市から尼崎まで通学しているので途中下車して色々探検してみようかと思っています。

▼▼学園生活を始められての印象について

早川 2年間の待機は長かったです。印象深かったことは、特に学食では若く可愛い学生さんやシニアの皆さんの明るい笑顔がいっぱいで、コロナ自粛からやっと解放された私にはキラキラ輝いて見え、その雰囲気になじませて幸せでした。

角田 第2の人生を、ランドセル担いで1年生になった新鮮な気持ちです。

濱口 コロナ禍で結局2年浪人となり、4月22日の入学式では喜びもひとしおでした。これから、新しい仲間たちと青春を謳歌したいです。

大前 アッと言う間の2年間でした。いつ始まるのかという不安は多少ありましたが、中途半端な時期ではなく、春に入学式を経て学園生活が始まった事は本当に幸せです。

松本 入学して1カ月、毎回の通学が楽しみで、

2年間待った甲斐があったと感じています。クラスが僅か7人になったのは、2年を待ち切れずに辞めてしまった方が出た結果だと思いますが、クラスメートが少ないのは残念です。

▼▼授業やクラブ活動などについて

濱口 国際文化の授業は毎回わくわくするほど興味深く、最前列でかぶりつきで聴講しています。クラブ活動は「けやき便り編集クラブ」に入部済み。「けやき遊歩クラブ」にも入ろうかと検討中です。

松本 演習の講義は、MOSの資格取得が目標です。具体的な学習目標が与えられていますので、これをターゲットにWord、Excelの知識をさらに深化させたいと思います。それ以外にも、ICT全般についての知識の体系的な習得を目指したいと思います。

大前 日本文学、日本史学ともに講師の熱心なお話のされ方に敬服致しますが、「古典」「古代」とともに興味が薄く今後の時代進行を心待ちにしています。クラブ・同好会は活動が活発になれば見学してみたいです。

早川 授業については、文化にとどまらず、めまぐるしく変化する現代の国際情勢についての講義も受けたかったのですが……。クラブは「遊歩クラブ」「カラオケクラブ」に入会し、温かい雰囲気とポジティブな皆さんとの語らいがとても楽しみです。

角田 歴史は興味ありますが、文学はあまり関心がありません。クラブは出来る事でしたら、コーラス部と考えていました。

▼▼先輩たちや社会連携推進センターなどへの要望について

松本 県や各市があちこちで生涯学習講座を開設していますが、そのほとんどが広く浅くの雑学だと感じています。学園には、学校教育法で定められた教育機関として、各科目分野について掘り下げた専門知識の伝授を期待します。

大前 経験されてきて「こうしたらもっと楽しいよ!もっと面白いよ!」という情報をたくさん

発信していただけたら嬉しいです。

濱口 2020年度に開講予定であった「現代社会の諸問題」を復活していただければと思います。

早川 コロナの影響で開放的な活動が限定的であることが残念です。今後、状況により、できるだけ自由な活動に戻ることを期待します。

角田 聞きたい話は短く感じます。楽しませてこそ「真の授業」をお願いします。

▼▼その他感想、ご意見などございましたら

松本 学園はシニア専修コースにもっと力を入れるべきと感じます。年間の入学者数が40名程度というのは信じられません。「社会連携推進センター」の名は、まるで社会貢献のために講座を開設しているように聞こえてなりません。講座を将来的に持続してもらうために、経営感覚を持って運営に当たるべきと苦言を呈します。

大前 日本文学の授業が“文学”よりも“日本語学”的な内容が多いので、できれば“文字”ではなく物語の“内容”に則った寄り道話が聞ければなあと思います。

濱口 学内には若い女子学生の元気な声、時には嬌声が溢れています。私には「お爺ちゃんも頑張りなさい」と言われているように感じます。日々、彼女らから元気をもらっています。

早川 アクティブシニアの先輩方の生き方、考え方、感性、活動等見習うことが多く、自分なりにアレンジして進んでいきたいです。有意義な三年間になることと思います。

角田 まず、3年間無事終了できる様に努めます。

編集クラブから

入学早々、新入生の方々にご無理をお願いして、誌上座談会に参加していただきました。座談会からは、新しい学びの世界へ飛び込んだ皆さまの、新鮮で前向きな意気込みが伝わってきます。ありがとうございました。

(まとめ:「けやき便り」編集クラブ 濱口)

2年2カ月ぶりの授業

国際文化学科2年 鈴木 好夫

▶ けやきのわ ◀

新たに改築された4号館、ここは何の教室、何の施設? 「櫻和館」? 「あっ! けやきのわ」シニア受講生の交流ブログと同じや、みんなの交流のための建物か、そんなことはないか。後日、入口の前で、ベビーカステラ販売のキッチンカーに多くの学生さんが並んでいました。

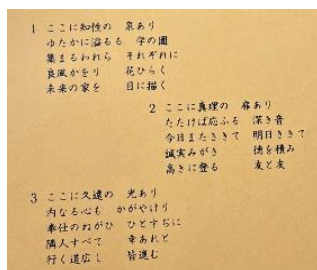


▶ 名前が思い出せない ◀

社会連携推進センターの事務所に受講資料を受け取りに行きました。職員の方も2年の間に少し入れ替わられているようでした。声をかけてくださった職員さん「あっ! 名前が思い出せない」認知症かなあ? いいや、この2年で物忘れがひどくなっただけです。

▶ 載っている ◀

新しいハンドブック、受講内容を確認しながら最後のページを見て「あっ! 載っている」みなさん気が付きましたか? 今までのハンドブックになかった大学歌が、今年度から楽譜とともに掲載されるようになりました。シニアの入学式、卒業式でも斉唱される大学歌、式次第には載せられていますが、教わったことがなかったので、しかたがなく口パクでした。思えば、このことを会議で言ったことがありました。



▶ なくなっている・その1 ◀

受講の時間前だったので、開花亭に入って休憩「あっ! なくなっている」食事代の支払い場所の横にあったコーヒー販売機がなくなっていた。受講前のひとときに必ず飲んでいた100円で比較的美味しいコーヒー。なんでなくなったんや、これもコロナの影響?

▶ 100円増えている ◀

午後から同好会のテニス会があるので、JOENでお弁当を買った。売店の方の「チャージされていますよ」の一言でレシートを確認する。

「あっ! 100円増えている」ICプリペイドをこの2年間全く使用していなかったの、累計ポイントが99.4のままでした。100円で0.5ポイントですが、たまるものですね。



▶ なくなっている・その2 ◀

お昼ごはんてクラス仲間一緒に開花亭に入ると「あっ! なくなっている」北側の窓際にあったふたつの長いテーブルがなくなっている。

グループで席を独占していた訳ではなかったのですが、食後のみんなでの雑談が懐かしく思い出されます。今はアクリル仕切りの4人掛けテーブル、そして黙食、仕方がないのでしょう。



この新型コロナによる2年のブランクが影響したのでしょうか、クラスの仲間が数人、同好会メンバーも数人が退学されていました。

お別れ会もせず、最後の挨拶も出来なかったことが、寂しく残念に思います。

編集クラブでもコロナ禍2年後の

学内探訪 をしてみました

★正門がいつも閉まってて迎賓館とまでは言わないが、こんなに立派だったんだ…知らなかった。

★各館入る時は、体温・消毒・マスク着用の徹底。もちろん名札もかけましょう。



★まず社会連携推進センターへ

新しく榎本所長、スタッフの小林さん、與山さん、南部さん、三嶋さん、これからよろしくお願いします。

★授業受講に際しては体調報告カードの提出忘れた人、足りない人はセンターにあります。



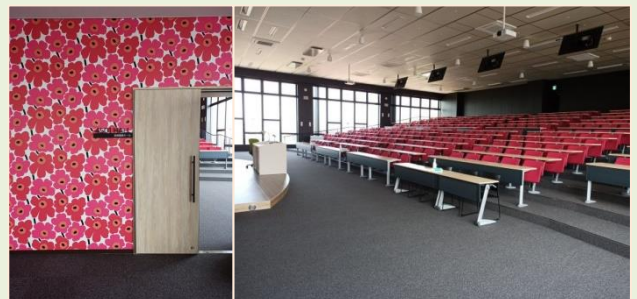
★4号館が新校舎「櫻和館（けやきなかん）」に変わってます。

1F 右手に魅力的な空間、Glam North & Glam South があります。だが、ここはシニアの入れない“禁断の園”だ！

2F～4Fはガラス張りのゼミルームもある。

1F～5FのPowder Room（トイレとは言わないのだ）は各階素敵にインテリアが違う。

5Fは入口の可愛い赤い花の壁紙と広い赤基調のホール（300名規模の講義・講演会が可能）。



★4号館前には週1でキッチンカーがきます。



人気のテイクアウトが食べられます。その曜日に出会った人はラッキー！



★4号館裏の広場、開花亭横の駐輪場所もなくなりスッキリ綺麗に整備。

★図書館の利用

利用者証の更新：学部が変わった人 or 新入生は1000円で手続きをして、利用者証ができた時点で1000円は返却。年度内に取りにこなかった場合は返却はありません。

★開花亭食堂から

テーブルセットが少なくなり、アクリル板が鬱陶しいね。でもこのアクリル板の消毒作業が大変だそうです。

一番の変化は学生食堂もコロナ禍の影響を受け、需要と供給の関係でメニューが少なくなってます。春からシニアコースが再開して、シニアの方の利用で少しは多くなったけど、もっと利用すればメニューも多くなるとか。

メイン料理は日替わりです。

美味しいコーヒーも、チャティーの自動販売機もなくなり、1Fのトイレ前の自販機でドリンクを買ってからチャティーへ。

食堂からのお弁当は生協購買部で売ってます。

2F チャティーは食堂の営業時間のみ利用できますが、パーティーにはまだ使用できません。



★生協購買店「JOEN」さんから（お薦め）

産学コラボで食物栄養学科の学生が商品開発した

「やすらぐ果実」 538円（10%引き価格です）

「スマートエッグマヨネーズ」 324円

（他のスーパーより100円安）を販売。

めちゃ美味しいヨ、買ってあげて！

★クラブ活動での教室やテニスコートの使用は不可。

★5号館食堂1Fの女子トイレがすべて洋式になって、綺麗に改装。

★ちょっとニュース：

シニア受講生の平均年齢は？

研究生 74.4歳（うん、予想通り）

在学生 70.6歳（ワオ、思ってたより高かった）（2022.6.10調べ）

「わが人生に悔いなし」

～石原裕次郎と人生賛歌映画～

文学歴史学科2年 田中 祐二



私の母親（現在94歳）は若い頃、石原裕次郎の大ファンでした。神戸市の須磨海岸で行われた映画撮影を見学に行くほど熱心で、“脚が長くて格好良かった”と耳にタコができるほどよく聞かされました。確かに当時の日本人の体型からしては、大柄で抜群のスタイルを持ち、現代劇で活躍するのに十分な資質を持ち合わせていたと思います。若い頃は決して演技の上手い役者とは思いませんでしたが、あれだけの大スターになるわけですので、演技力が役者の絶対条件ではないのは確かです。

また石原裕次郎は俳優だけでなく、歌手としての一面もあり、名曲や数々のヒット曲があることに驚かされます。彼の声には独特の味わいがあり、非常に魅力的な歌い方で、今でも年配の人たちがカラオケに行くと、必ず彼の歌を歌うのは納得がいきます。

私事ですが、最近少しマシになりましたが、昔はかなりの音痴でした。そのため若い頃はカラオケに行きますと、皆が酔っ払った頃合いを見て歌いました。それでもあまりの酷さに笑いだす人がほとんどでした。笑い上戸の会社の後輩は、背中を向けて鞆の中の何かを探す振りをするのですが、背中とお尻が細かに揺れているので、笑っているのが判りました。その他には壁に爪を立てて笑っている者もありましたし、あっそうそう…ピーナッツを喉に詰まらせ、死にかけてた者もありました。

その私が最近、調子に乗ると必ず歌うのが、何と！石原裕次郎の最後のシングル「わが人生に悔いなし」なのです。加藤登紀子の作曲もいいのですが、何と言ってもなかにし礼の作詞が最高で、特に3番の歌詞がとても気に入っています。

「桜の花の下で見る 夢にも似てる人生さ 純で行こうぜ 愛で行こうぜ 生きている限りは青春だ・・・わが人生に悔いはない」

人生は儚いかもしれませんが生きる価値はあるのだと・・・思わずサミュエル・ウルマンの

有名な「青春」という詩の一節が頭に浮かんだりもします。

この歌を歌うと思出す映画が、「素晴らしき哉、人生！」（1946年）という古いアメリカ映画で、名匠フランク・キャプラ監督がジェームズ・スチュアート主演で贈る、アメリカの良心を描いた正にヒューマンドラマの傑作です。

心優しい主人公が人生に絶望した時に天使が現れ、主人公の人生を肯定して、生きる希望を与えてくれます。そしてラストは周りの人達の優しさに包まれて幸せな気分になれます。落ち込んだ時に観たいポジティブな映画です。そして原題の「it's a wonderful life」と思って前向きに生き、また他人に思いやりを持って生きられる人間でありたいなど思わせる名作でした。



待ちに待った園田シニア専修コースの授業も再開され、人と人との繋がりがいかに大切か、という事を改めて感じています。学校内で生き生きとしているシニアの諸先輩方とお話すると、とても元気が湧いてきます。私のような名もなき凡人も「わが人生に悔いなし」といえる人生を願っています。そして園田での皆様との触れ合いがその願いを叶えてくれそうな気がしています。

マクドナルドの店舗を見ると、必ず頭に浮かぶのが「スマイルは0円！」。

自分自身にも、まわりの人にも、笑顔（スマイル）は幸せを引き寄せます。

これからも映画「素晴らしき哉、人生！」を観たときの感動を思い起こしながら、笑顔を忘れず前向きに年月を過ごし、最後の瞬間は「わが人生に悔いなし」と呟きたいと思っています。

46億年「生命誌の階段」



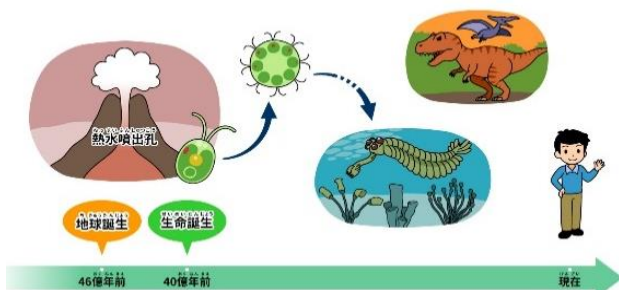
研究生 井上 聖明

高槻市にある「JT生命誌研究館」を再び訪ねました。館内中央に「生命誌の階段」がありますが、階段は一段が一億年で造られていて、一番下の地球誕生から46億年で現代になり「食草園」に着きます。「食草園」は昆虫(蝶)と植物の営みを観察研究するところで、私は、植物の種類によって卵を産み付けに飛んでくる蝶が異なるということを研究員の方の説明で初めて知りました。



地球の生物は一つの細胞から

中間の踊り場が38億年前、地球に一個の「単細胞生物」が誕生した時で、少し上の25億年前頃には「多細胞生物」が誕生し、5億年前頃になると生物は海の中で爆発的に多くの種が生まれ進化していきました。そして4億年前頃から植物、節足動物、両生類などが陸に上がり始め、陸上で進化してきたのです。このことから、姿かたちや生き方は違うけれど、地球上の植物、生物はみんな私たちの仲間なのです。



植物は知性を持っている

植物は、太陽の光を利用した光合成によって、自分の体で成長に必要な栄養素を作り出す様に進化したので動く必要がなく、芽を出した場所で生き続けることが可能になりました。それに比べ、人間や他の生き物たちは、食物を求めて動き回らなくてはなりません。そのため植物は何もしないでいると思われがちですが、実際は人間が気付かないだけで、見る、話す、匂う、考える、眠る、触るなど、動物と同じ様な知性を持ち、永い年月をかけて色、形、匂いを変えて進化しながら、あらゆる環境に適応し、昆虫や鳥や人を使って繁殖と子孫を残す知恵があるのです。



人間は植物の奴隷？

生物が生存していく目的は種の子孫を残し増やしていくことだと言われますが、そのことを考えると、植物たちは、私たち動物に比べてはるかに遅く賢い生き物だと言えます。

人間は、狩猟生活をしてきた時代までは植物や他の生きものとはほぼ対等な関係を持っていましたが、米や、



麦、野菜などを栽培する、いわゆる農業を始めた時点からひたすら農地を広げ、品種改良し、害虫を追いか、他の人と争いながら植物を繁殖させることに精を出す「植物の奴隷」になってしまった、と言う方もいます。

生命誌館の研究員の方の話では、生物本来の目的以外の欲望を満たすため「自然を破壊し、お互いに殺し合い、地球にとって一番有害になっているのは人間ですよ」とのこと。

私たちはいったいなにをしているのでしょうか。

(図の出典 JT生命誌研究館パンフレットより)

チェコで見つけた『エルベの誓い』(?) 記念碑

文学歴史学科2年 松原 光治

はじめに

2022年5月8日付 朝日新聞(朝刊)は、「友好 崩れ去った」の大見出しの下に、「ウクライナの首都キーウで撤去されるロシアとの友好を象徴するブロンズ像」の写真を掲載した。この記事を読んで、すぐに思いついたのが、掲題の記念碑のことだった。あの記念碑は今も無事だろうか? チェコの人達に不戦の誓いを訴え続けているだろうか?

チェコ旅行

私たち夫婦は、2012年6月に十日間ほどチェコを旅行した。この旅行を思い立ったのは、「チェコがヨーロッパのちょうど中心に位置し、中世から東西・南北ヨーロッパの十字路として栄えてきた」と、何かの講義で聞いたのがきっかけだった。またチェコは、私たちが訪れた最初の「元社会主義の国」で、そんな興味もあった。プラハからクトナー・ホラ、テルチ、チェスキー・ブジェヨビツェ、チェスキー・クロムロフと世界遺産を訪ねた。

私たちは、ほんの少しの英語しかできないのだが、地元の人たちに話しかけた場合、“No English!” と、はねつけられる場合がないこともなかったけれど、「英語はダメだけど、ドイツ語は? だめならロシア語は?」と、親切に対応してくれる人たちが多く、特にコミュニケーションが取れないで困ったこともなかった。

プラハからクトナー・ホラへ

プラハは、「ヨーロッパゴシックの中心地だった」と言われるとおり、見どころが一杯だった。日曜日には、あちらこちらの教会で幾組ものカップルが結婚式を挙げ、こちらの風習らしく、



図1. チェコ、エルベ川、トルガウの位置関係

花嫁衣裳の女性が、新郎や家族・友人に囲まれて、真っ白な鳩を青空に投げ上げ、飛び立たせていた。有名なカレル橋の上では、世界中からの観光客がぞろぞろ散策していて、ウィーンやローマの観光地と変わらない光景が広がっていた。壮麗な初期バロック様式の教会で開かれたオルガンコンサートでは、モーツァルトが使ったというパイプオルガンの伴奏で、アヴェマリアを聴くこともできた。レストランで食べたアヒルのローストや酢キャベツなどの料理も私たちの口に合ったし、おいしいビールが水よりも安いことには感激だった。

プラハからクトナー・ホラへは、列車で1時間くらい。ホテルへは、鉄道の駅からバスに乗らないといけなかったのだが、列車で相席になった現地の女性が、自分の家のすぐ近くだからと親切に案内してくれた。クトナー・ホラは、中世には銀山として栄えた町だそうだが、今は静かな田舎町だった。

骸骨寺

この地の世界遺産、通称骸骨寺（正式名はセドレツ納骨礼拝堂）は、あまりにも衝撃的だった。この地が墓地として使われるようになった謂われは、いろいろあるようだが、中世この地を襲ったペストで亡くなった人、およびフス戦争の犠牲者など、膨大な数の死者を弔う墓地として使われていたようだ。16世紀からあまりにも大きくなりすぎた墓地の規模を縮小するために、遺骨の掘り起こしと納骨堂の建設が始まり、19世紀にはこの教会を購入した貴族がおよそ4万体と言われる遺骨をインテリアとして使用する現在の形の納骨堂が建てられたようだ。「死を想え」とのメッセージだそうだが、怖いとか気味が悪いとかいうよりは、貝殻が無限に積んであるような無機質な感想を持った。仏教的死生感に慣らされている私には、遺骨をあそこまで「モノとして扱えない」と感じた。

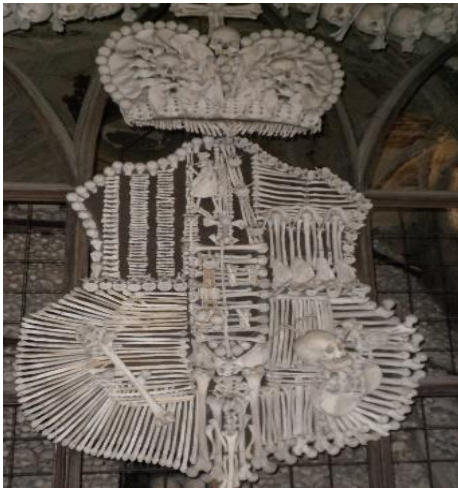


写真1. 教会を購入した貴族の家紋: エントランスの正面に飾られている。この奥には、約4万個と言われる頭蓋骨が積まれている。

記念碑を発見

骸骨寺からもう一つの世界遺産である聖バルボラ教会へ歩いていた時、大きな記念碑を見つけた。何の記念碑だろう？ ちょっと待て、この図像には見覚えがあるぞ。真ん中には、アメリカ軍を象徴する鉄兜をかぶった兵士と、ソ連

の赤軍を象徴する毛皮帽子をかぶった兵士ががっちり握手をしている。その周りには、それぞれ同僚の兵士たちや子供を抱いた女性など笑顔で取り巻いている。あっ、これは若い頃に社会科の教科書か、何かで見たことのある『エルベの誓い』の図像ではないか。ここはチェコなのにちょっと変だけど（この疑問については後述）、でも元社会主義の国だから、こんなこともあるのかもしれない。と、大変いいものを見つけた気になって、とても感激し、写真を撮ったのだ。

なお、この小文を書くにあたって、確認のために、この記念碑に添えてあったチェコ語とロシア語で書かれていた碑文を専門家に確認してもらったところ、この記念碑は、ナチスドイツの占領からチェコを解放してくれた人たちに対する感謝と記念のモニュメントと分かった。

1945年6月9日赤軍に援助されたチェコのパルチザンが、プラハで蜂起し、ナチスドイツの占領軍を追い払ったのだ。もちろん、アメリカ軍も西の方からきていたようだ。『エルベの誓い』の記念碑と思ったのは、下記するように図柄がそっくりだったことによる私の誤解だった。もしかしたら、トルガウと距離的にさほど遠くないので、似たようなデザインになったのかも知れない。



写真2. ナチスドイツの占領からチェコを解放した人たちへの感謝と記念のモニュメント

『エルベの誓い』とは

第二次大戦の末期、ノルマンディ上陸作戦に成功したアメリカ軍は、西から東へドイツナチ軍を追い詰めていた。一方ソビエト赤軍は、東から西へドイツナチ軍を追い詰めていた。この両者が最初に遭遇したのがエルベ河畔のトルガウという小さな村で(『エルベの邂逅』)、両軍の兵士は、言葉も十分に分からないままに、ファシズムに対する勝利を祝い、二度と闘わない不戦の誓いを立てたという(『エルベの誓い』)。

この誓いは、不幸な東西両陣営の冷戦の期間にも、関係者の間で広められ、世界中の平和を願う人々の共有財産となった。トルガウには、このことを記念していくつかのモニュメントが建っているそうだし¹⁾²⁾。その一つが写真3に示す私が若い時に社会科の教科書か何かで見た今回の話題のもとになったものだ。この記念日から75周年に当たる2020年4月25日には、「アメリカのトランプ大統領とロシアのプーチン大統領は、第二次大戦中に米軍と旧ソ連軍が不戦の誓いを交わした『エルベの誓い』から75周年を祝す共同声明を発表した。誓いについて『我々が大きな目的のために双方の違いを乗り越えて信頼や協力関係を構築できることを示す事例だ』と指摘した」³⁾という。

終わりに

この小文を書いているこの瞬間も、ウクライナでは不毛で不幸な戦争が続いている。無差別な砲撃や爆撃に曝され、血を流し、戦っている人たちに向かって、『友好の記念碑まで壊さないで!』などと言えないことは分かっている。十分わかったうえでなお且つ、いつの日かまた再び友好の記念碑が建てられる日が来ることを心の片隅で信じていてほしいと願わずにはられない。ウクライナとロシアは、兄弟の民族であり、兄弟国なのだ。今は色々な難しい出来事があって、

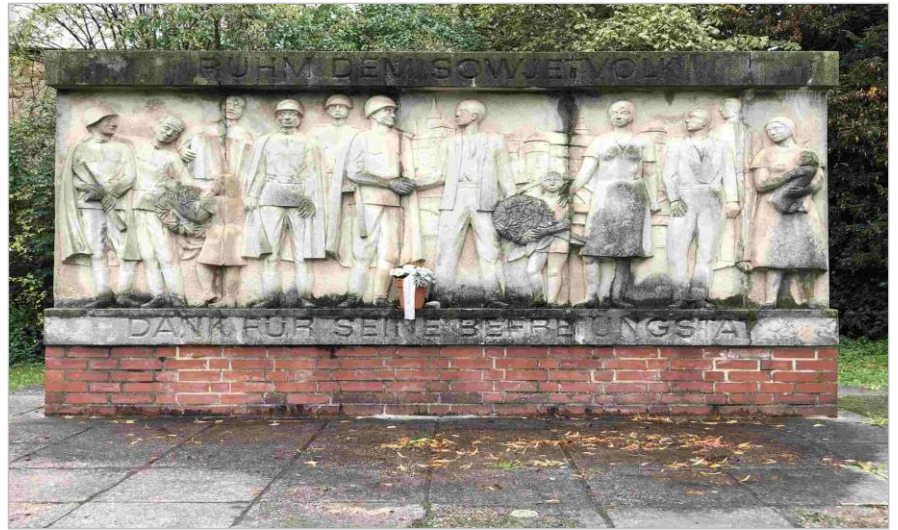


写真3. トルガウに建てられている『エルベの誓い』モニュメント

憎しみ殺しあっているけれど、子や孫の代まで不倶戴天の敵であってよいはずがない。

我々日本人だって、そうではないか。私たちの両親や祖父母の時代には、「鬼畜米英、一億火の玉」などと言われ、竹槍訓練までしていたのだ。東京、大阪などの無差別爆撃をはじめとして、広島、長崎の原爆投下まで受けている。

でも、敗戦後はどうだろう。この戦争を指導した軍人・政治家たちは、さっさと手のひらを返し、今ではその指導者だった人たちの孫世代の政治家が「日米同盟の更なる深化」だの、「G7との協調」だのと、毎日のように言っている。今の日本人ほど、アメリカ人や西欧人に甘い人たちはいないだろう。

憎しみを忘れることは、憎みあっているよりもいいことなのだ。ウクライナとロシアのあいだにも一日も早く、平和で友好的な日が来ることを祈りたい。

参考資料

- 1) 早乙女勝元『エルベの誓い』 草の根出版会
- 2) 誰も知らないドイツの町 Unbekannte deutsche Städte (31) : ★★トルガウ Torgau -13- |
- 3) 米ロ首脳、「エルベの誓い」75周年で共同声明: 日本経済新聞 (nikkei.com)

尼崎城でいろんな体験をしました

研究生 阪田 正樹

先日、尼崎城に見学に行きました。最初は単なる遊びのつもりで行ったのですが、その歴史などに興味を持ちましたので、紹介させていただきます。

尼崎城の再興は平成31年で最後の城として旧M電化の創始者が地元に貢献したいとして10億円の寄付を基に建てられました。

城内は地上5階建てでエレベーターもあり、VRシアターや、剣術&鉄砲の体験コーナー、槍や刀の重さ体験など、遊びながら学べる造りになっています。

実際に剣術体験では映像の竹を切っていくのですが、高校時代剣道部(50年前ですが)の私は10歳の子に負けてしまいました。阪神尼崎駅からもきれいに見えます。



1. 尼崎城の歴史

大坂夏の陣後、江戸幕府は大坂を直轄地として西国支配の拠点とするため、元和3年(1617年)、譜代大名の戸田氏鉄(うじかね)に尼崎城を築城させ、大坂の西の守りとしました。

尼崎城は、翌元和4年(1618年)から数年の歳月をかけて築造されました。三重の堀と四層の天守からなる城で、その規模は、現在の北城内・南城内の約300メートル四方、阪神甲子園球場の約3.5倍にも相当する広大なものでした。

尼崎城は、戸田氏・青山氏・(櫻井)松平氏と、代々譜代大名が藩主を務める尼崎藩政の中心と

して君臨しました。尼崎藩は西は神戸の須磨区まであったそうです。

しかし、明治6年(1873年)、明治政府は、廃城が決まると間もなく建物は取り壊されることに。

2. 尼崎にもあった皿屋敷(お菊伝説)

元禄9年(1696年)。尼崎藩主青山播磨守幸督(よしまさ)の老臣、喜多玄蕃の屋敷にお菊という女が侍女として奉公に上がっていました。

お菊は気だてが良く大層美しいと評判でしたが、嫉妬深い玄蕃の妻はこのことが面白くありませんでした。ある日のこと玄蕃の妻はお菊を陥れようと、お菊が給仕した喜多玄蕃の御膳の碗の中に縫い針を忍ばせました。

喜多玄蕃は碗の飯を一口頬張ろうとして、針の混入に気付きました。玄蕃の妻はすかさず「これはお菊のせいに違いない」と騒ぎ立てました。

玄蕃は自分を殺害しようと企てたとして激怒。お菊を荒縄で縛りあげると逆さに吊るして折檻し、お菊が苦痛のあまり気を失うと井戸の水を浴びせては何日も折檻続けました。そしてとうとうその井戸の中にお菊を投げ込んで殺してしまったのです。

この一件があつてから喜多家では怪異や祟りが続きました。そしてそれは事件として尼崎城主・青山氏の耳に入り、喜多は改易、屋敷は祟りがあると恐れられ廃屋となりました。

喜多宅の跡地にお菊の霊を鎮めるためにお寺を建立しました。それが「深正院」(大物町)です。

そして今でも「深正院」にはお菊が投げ込まれた井戸があり、入口は石盤で固く閉ざされています。(お皿でなく、針ですが)

是非とも尼崎城と「深正院」にフィールドワークしてくださいませ。

私の川柳修行

きっかけはコロナ禍の暇つぶしだった

国際文化学科1年 濱口 祐一

2022年4月22日に入学式を迎えた全ての新入生がそうであるように、私も2020年4月に園田学園女子大学シニア専修コースの学生になるはずでした。ところが新型コロナウイルスが猛威を振るい、入学式はおろか前期授業まで中止になってしまいました。それどころか、世の中は自粛ムードが充満しほとんどのイベントや稽古事は中止になり、同年3月に会社を退職した私は行く場を失ってしまった。許されるのは買物や近所の散歩くらいで、自宅にいる時間が多くなり、毎日何をして過ごすかが問題でした。

そこで私はコロナに翻弄される自分や世の中を川柳にして笑い飛ばしてやろうと思いました。今から考えると実に不遜な考えですね。さっそう、コロナをテーマに作句してみました。

退職とコロナ重なり嫁の我慢も玄界灘
濃厚接触ダメならさらなる少子化心配や
ふれあい死語となるのか非接触型社会
いつ行ってもないものはないマスク棚
おしどり夫婦家の中ではディスタンス etc.

今読むと顔から発火するほど幼稚な句です。おまけに、川柳は「五・七・五」の「十七音字」（十七文字ではない）で書くのがルールですがほとんどが字余りです。さすがの私も自己流では上達しないと思い、偶



「六甲川柳会」
作品展と作者

然見つけた神戸市の灘区文化センターという所で毎月開催している「六甲川柳くらぶ」に2020年8月より参加しました。

先生クラスの会長を含め全員で8名のこじんまりした川柳の勉強会です。毎月、「兼題」（決まったお題、例えば、「ぼんやり」とか）2句と自由なテーマの「自由吟」2句を作句して、メンバーの挙手で優秀句を決めるやり方です。その際、句の作者は伏せておく。当然ながら、私の句には手が挙がりませんでした。また今でこそ、会員とは懇意にしていますが、初め私は“危険人物”と見られていました。コロナで学校が休みになり、近所で朝から嬌声を上げて遊んでいる子供らにいらだち、

やかましいよそで遊べ近所のくそガキ

と詠んだからです。「くそガキ!」、まあなんて「お下品な」と神戸の山の手に住む老婦人らのひんしゅくを買い、彼女らの信頼を得るには半年かかりました。また、先生からは「子供は国の宝、将来の納税者。こんな事書いたらあかん」とたしなめられました。

私に転機が訪れたのは、輪番でやっている勉強会で資料を作るために必要に迫られ川柳の入門書を読んだことでした。その本で私は時実新子（ときざねしんこ）（1929～2007）という川柳作家のことを知りました。女性の情念を激しく表現した句が多く、その作風から川柳界の与謝野晶子と呼ばれていると聞きます。例えば、

妻をころしてゆらりゆらりと訪ね来よ

墓の下男の下に眠りたや

雪がふる私のような雪がふる

斬っても斬っても女のくらがり etc.

どうですか、こんな句は？句意はわからずとも、ドロドロとした女性の情念が伝わってきて鳥肌が立ちます。阪神淡路大震災を詠んだ、

平成七年一月十七日 裂ける

も凄いのひとことです。いわゆる“サラリーマン川柳”とは違う、文芸作品のホンマの川柳だと思いました。

しかし、新子を知ったからと言って急に新子の作風に近づけるはずもなく、私は相変わらず時事句を中心に自分を題材にした句を作っていました。ほとんどは自分しかわからない句でした。

自分しか理解不能の自信作

2022年1月に先生の勧めもあり、別の句会「六甲川柳会」に初めて参加しました。この句会は会員60名を擁する神戸市でも有数の大きな句会です。兼題が3つ(各2句)と自由吟2句計8句を事前に準備する必要がありました。さらに、当日お題を発表して作句する「席題」もあり合計10句作句するのは初心者にはかなり辛かったです。でもこの句会で私は「佳作」

星の下あらがいつも今的位置 (席題：星)

の他に、

老いらくの恋邪魔せんといて時間ない

(兼題：邪魔)

ジグザグも前に進めばそれで良い

(兼題：ジグザグ)

万年課長狙ってなれるものでない

(兼題：狙う)

の3句が「入選」と大活躍でしたが、これがゴルフでも良くあるビギナーズラックと後でわかりました。翌月以降は鳴かず飛ばずの状態です。

最近のトピックとしては、6月8日から1週間、神戸市灘区文化センターで作品展があり、以下の3句を短冊にして展示しました。書道をやっている妻に頭下げて毛筆で書いてもらいましたが、「濱口さん字がお上手ですね」と言われましたが、句は誰も誉めてくれませんでした。

「いかなのい」何が遺憾か言ってみろ

ガスほしい対露制裁及び腰

テレワークやってみたいが仕事なし

私の句は、発想の斬新さを売りにしていますが反面、句意がわからないと誰も評価してくれない句が多いです。最後に、私の「難解句」を以下に書きます。こんな調子でこれからもマイペースで川柳を続けたいと思います。

桃太郎犯罪収益盗っちゃだめ

なぜ僕が父に似るんか母に問う

お姫さま電話対応困ってます

この席にユダさん来るとディスタンス



これらの難解句の句意がわかった方は「けやき便り」編集クラブまでご一報ください。



「六甲川柳会」句会 於：神戸魚崎西町会館

フォト39会・フォトけやき会ブログ掲載作品

研究生 木村 勲

～春から初夏の花風景～



▲京都市「城南宮」の梅



▲京都市「淀水路沿い」の河津桜とワンちゃん



▲亀岡市「延福寺」の桜



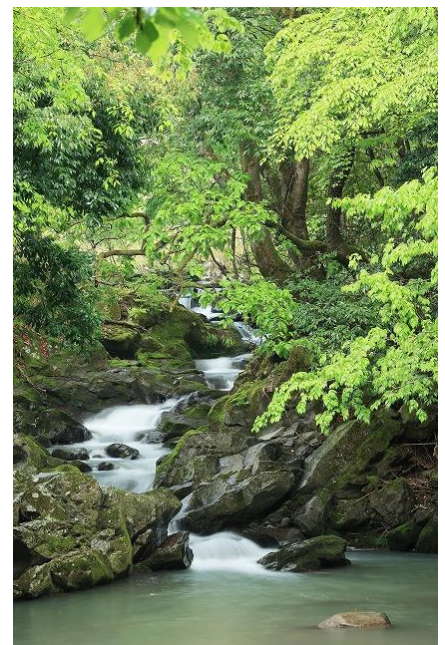
▲奈良県橿原市「藤原京跡」桜と菜の花



▲朝来市「玉林寺」の枝垂れ桜



▲近江八幡市「水郷めぐり」



▲豊岡市「神鍋高原」の新緑



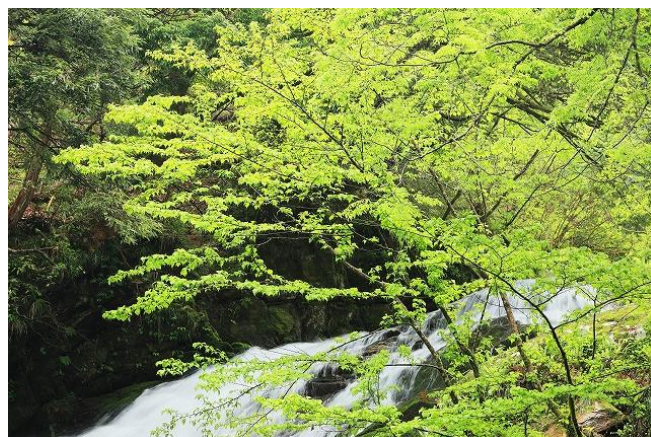
▲高島市「酒波寺」の彼岸桜



▲朽木村「安曇川沿いの道の駅」の桜



▲綾部市老富「八重桜」ハイキー撮影



▲香美町小代区「久須部溪谷」の要滝と新緑



▲奈良県桜井市「談山神社」の新緑



▲大阪市「舞洲ロッジ」のアジサイ

コロナ禍の中でも、一人カメラを持ち、近隣の撮影地を巡り、季節の移ろいを感じております。
春の訪れを感じる梅、心華やく桜、そして目映い新緑から梅雨時に似合うアジサイまでの花風景を
今年カメラに収めた作品をご紹介します。

フィルム時代とは違い、デジタルカメラに移行してから、フィルム代や現像代の心配をせず、いくら
シャッターを切っても費用がかからず、年金受給者にとっては有難いカメラが開発されたものだとつ
くづく思います。

随時、ブログで撮影地の紹介や作品を配信していますので、ご興味のある方はご覧ください。

検索には <https://profile.ameba.jp/ameba/photo39-2019/> でご覧になれます。

コロナ禍のシンガポール

国際文化学科1年 角口 博敏

3月下旬に日本とシンガポール間での待機期間の撤廃を機に、2年振りに彼の地を訪れました。シンガポールには、約30年ほど住んでいましたので、第2の故郷なんですね。

この時期ですので、出発時にはPCR検査の陰性証明書、接種証明書を携えて関空へ出発しました。

予想した程には、トラブルも無く無事に現地に到着しましたが、まず最初にスマホで政府指定のアプリを取得してそのアプリで全てが始まります。何処へ行くのもこのアプリが必要で、殆どの施設の入り口でこれを機器に触れて「ピー」の音と共に入場です。スマホが無ければ全く生活ができません。友人も一番の心配事は、スマホの紛失とバッテリー切れだと言っており、本来、人間が携帯を使うのに今は、携帯が人を使っていると自嘲気味に笑っていたのが印象的でした。



シンガポールの金融街

東京23区(淡路島)の広さに約600万人が暮らす都市国家のシンガポールですが、今回の

コロナ対策は、一党独裁的(勿論、野党も存在します)な政治体制ですから、徹底した方針が出されてます。ある意味正解かもしれませんね。「明るい北朝鮮」とよく揶揄していましたがね。

3泊4日のスマホのピーピー旅行でしたが、最も大変でしたのが、関空での入国時です。先ず唾液のPCR検査を深夜に受けますが、70歳を超えたじいさんに相当量の唾を出せとは無理ですよ!!

いつもなら、もう寝てますからね。

係の若い女の子が「お客さんもう少し出して下さい」

私 「もうこれ以上無理」

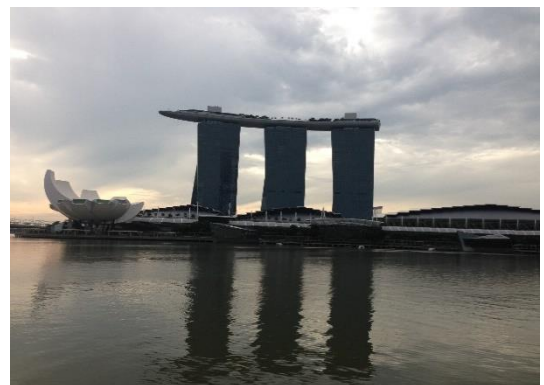
女の子「でもこの量まで出して下さい」

私 「無理、唾の代わりに痰ではだめ？」
女の子の表情が変わり、「ハア ダメです お父さん」と呼び名が変わりました。(貴女みたいな娘を持った覚えはないけど)

悪戦苦闘の結果、次のコーナーへ兎に角、歩け歩けです。なんで夜中に万歩計の数字を上げないかんですかね。検査の時間稼ぎとは判っているのですが、幸いに陰性でしたが、もし陽性でしたら、倒れこんでいましたよ。

今回のコロナ禍での旅行で感じた事は、年寄りはおとなしくシニアのカレッジに通ってれば良いとの結論でした。ただ、この原稿を書いているながら、安い航空券をスマホで探している懲りないオヤジ……。

<追記>今はスマホでのピーピー追跡はなく、コロナとの共生になってるそうです。



マリーナベイ・サンズ

「My Villa」として旅館に泊まる

研究生 中村 米三郎

1. 「My Villa」として旅館を考えます。

私は、数十年前、宝くじが当たれば、どこかの海辺あたりに小さな別荘(Villa)を買い、休日のはのんびりと過ごしたいと考え、宝くじをせっせと買っていました。が、当たり前のことが当たりません。それに、仕事が猛烈に忙しいこともあり、時間が経つうちにだんだん忘れていきました。

時間がだいぶん過ぎてシニアになり、ふと思いました。時間は十分あるので、特に日祭日以外でも常にサンデーという特権をシニアは持っています。「My Villa」は、日祭日を避けて泊まりたい時に、休養したい時に使えたら良いのではないかと、思いました。

建物は完全管理、食事の準備も掃除も不要。普通の旅館を「My Villa」と考えたらベターではないかと、思いました。

自分で「My Villa」を持つより、普通の旅館を「My Villa」と考えた方が、はるかに合理的、コストパフォーマンスも良い、と思います。

そう考えて「My Villa」を探してみました。観光ではないので、なるべく近くで移動が少なく、自然に囲まれている所を選びました。

兵庫県が運営する「憩いの宿」がピッタリ当てはまりました。その中で、赤穂市にある「赤穂ハイツ」、淡路島にある「津名ハイツ」、加西市にある「いこいの村はりま」を選びました。

2. 「My Villa」を体験します。



5月23日、24日に「赤穂ハイツ」に行きました。

「赤穂ハイツ」はその時、料理で「鯛そうめん」を提供されているのがポイントになりました。「鯛そうめん」は、瀬戸内海地域で広く愛されて

いる郷土料理のひとつで、鯛を丸ごと1尾姿煮にして、そうめん



と一緒に盛り付けをする豪華な見栄えの料理です。

一晩泊り、その翌日10時に「赤穂ハイツ」から直接帰路につきます。

姫路からJR新快速に乗車して、12時過ぎには我が家に帰ってきました。昨日の12時に家を出たので24時間の旅でした。



3. 「My Villa」の条件を考えます。

- ・まずくつろげること
- ・我が家からの距離があまり遠くないこと
- ・周囲の雰囲気自然に恵まれていること
- ・気軽に出かけられることができること
- ・できれば料理か何かに特徴があること

少し、「My Villa」の条件が多いかも知れませんが、利用するのは、日祭日を避けていますので、この程度は良いのでは、と思っています。

今後、8月に「鱧尽くし会席」、12月に「坂越牡蠣会席」で行く予定です。

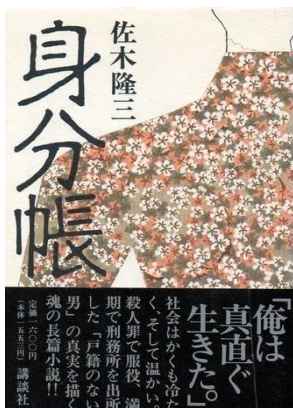
『身分帳』を読む

文学歴史学科2年 田中 祐二

地元で月1回行われている読書会サークルに参加しています。最近の課題図書でとても心に残った作品が佐木隆三の『身分帳』でした。この時代小説風のタイトル作品は、実在の人物をモデルに、13年の刑期を終え出所した元殺人犯の男の苦労と生き様を描いた長編小説です。

“身分帳”というのは、収容者の家族関係や経歴、入所時の態度や行動が記載されている書類の事で、問題行動がなければ薄いものとなりますが、モデル主人公のようなトラブルが多い収容者になると厚みが膨大となるそうです。人生のほとんどを刑務所で過ごした主人公にとっては、自分の歴史（自分史）に等しい書類となります。

見事なドキュメンタリー小説だと思いました。



出所して日常生活を送るようになった“現在”の主人公と、身分帳や手紙から“過去”の主人公とをリンクさせて描いていき、最後は自分のルーツである福岡に行くことにより、物語は幕を下ろします。

直情型で曲がったことが嫌いなため、あらゆる場面でトラブルを起こしますが、何とか踏みとどまって堅実に生きようとする主人公は本当に憎めないキャラクターです。戦後は孤児として生き抜き、そして長きにわたる獄中生活を生き抜き、ポンと娑婆（俗世間）に出され、まさに“浦島太郎”の状態です。社会に馴染むのに一苦労する主人公の姿に、犯罪被害者の更生・社会復帰することの大変さ、そして出所した人間が突き当たる壁・偏見というものがどんなものか、この本を読んでよく分かりました。

この小説に興味を示したのは、2021年に西川美和監督、役所広司主演により「すばらしき世界」のタイトルで映画化されていたからです。

劇場公開時に鑑賞しましたが、期待を裏切らない秀作でした。まず脚本が見事で、テーマがとても分かりやすく胸にジワリとくる映画でした。全出演者の熱演に圧倒されましたが、特に主人公を演じた役



所広司はまさに圧巻の演技で、激しさ、優しさ、強さ、弱さと揺れ動く心様を演じられる最高の役者だと思いました。自分に正直であればあるほど周りに迷惑をかけてしまうという“世間・社会”に戸惑う主人公の姿に「すばらしき世界」とは何かと考えさせられる映画でした。

絶版状態であった『身分帳』が映画化を機に復刊された講談社文庫（2020年7月発行）に、西川美和監督がとてもいい“あとがき”を載せています。

「普通の人にしてみれば“凡々たる日常”であるものが、裏社会と塙の中でしか生きてこなかった主人公には衝突と挫折との連続で全く凡々と進まないのだ。こんなにも退屈かつ切実な物語があるだろうか・・・」（450ページ）

「・・・理不尽な仕打ちもあったでしょうが、周りから意外な情をかけてもらえる瞬間もある・・・世間も冷たいばかりではない。けれどそれこそが社会の複雑さであり、生きていくことの難しさと楽しさではないか」（452ページ）

この小説には、元犯罪者の社会復帰の話とは別に、日本の戦後史のアウツサイドが綴られていると、西川美和監督は述べています。

戦争孤児という事で苦労をしてきた主人公が、自分を捨てざるを得なかった母親も決して楽な人生ではなかったと思い、母親探しの気持ちになるくだりに深い感銘を受けました。

大河ドラマで歴史を学ぶ？

研究生 高山 純子

この十数年、なんとなく大河ドラマを見ているのだが、今年は「鎌倉殿の13人」である。学校で習った鎌倉時代の歴史で覚えていることといえば、平家滅亡・源頼朝・執権北条氏の御成敗式目といったところであろうか。実のところあまり記憶にない。

そこでこのドラマを機に鎌倉時代のことをもう少し詳しく知りたいと思い、『眠れないほどおもしろい吾妻鏡』という本を買ってみた。『吾妻鏡』は「北条氏の北条氏による北条氏のための歴史書」なのでいささか客観性に欠けるところがあるという。そんなわけでこの本は『愚管抄』やその他の資料も駆使して書かれているそうだ。寝る前に読み始めたせいか、眠気に負けて途中で寝てしまった。「眠れないほどおもしろい」はずなのに……。

もう一冊『史伝北条義時』という本も買い求めた。これには北条氏の歴史が書かれている。北条氏の出自は伊勢平氏の庶流であるらしいが、後に源氏に味方することになるとはおもしろいものだ。

鎌倉時代・室町時代というのはテレビドラマや映画では描かれることは少ないように思う。そのせいもあるのか、これらの時代を描いた映像作品を見たときに戦国時代や江戸時代に比べて、私の頭の中にある知識だけではわからないことや知らないことがたくさん出てくる。

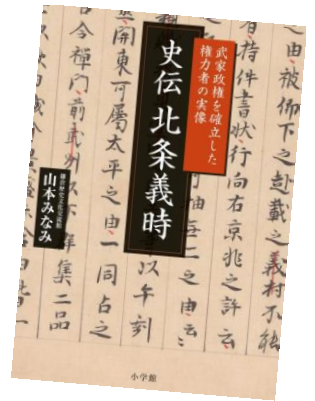
2020年の「麒麟がくる」では室町時代末期が描かれていた。室町幕府や足利家が最後はどうなったのか、習ったのかも知れないが全く覚え

ていない。このときも足利將軍家に関する本を読んだのだがドラマを見てよく理解できた。

テレビドラマであろうと映画であろうと、何かをきっかけにその背景にある歴史を深く知ろうとすることは悪いことではないと思う。

すでに知っている事柄が描かれていれば、これは歴史上のあの場面なのだと認識できる。フィクションも混じってはいるけれどドラマで歴史を学んでいるようなものである。

今後の大河ドラマの主人公は2023年は徳川家康、2024年は紫式部だそうだが、おなじみの江戸時代はいいとして、平安時代のことをもっと知りたくなるだろうか。いいや、平安時代は天皇と藤原氏との関係を考えただけでもこんがらかってきそうなので、ドラマを見るだけにしておこうかな。



▲「鎌倉殿の13人」の場面カット (C) NHK

【参考文献】

板野博行：『眠れないほどおもしろい吾妻鏡』
山本みなみ：『史伝北条義時』

ここは私のパラダイス パート2

研究生 徳田 将之

コロナ禍で「ステイホーム」や「巣ごもり」が求められ自宅に居ることが多かったとき、ヒマに任せて「けやき便り」のバックナンバーを読んでいたら筆者の投稿したのもいくつかあった。

そのなかで、第10号(2014年6月)に「ここは私のパラダイス」と題して朝日新聞の天声人語から引用した「退職後に毎日ヒマ人として過ごさない秘訣は『キョウヨウ』と『キョウイク』にあるという。教養と教育ではない・・・『今日、用がある』と『今日、行くところがある』の二つである」という話に絡めた拙稿を書いた。

なるほど、コロナ禍で外出がままならない日々が続いた時期にはシニア専修コースで対面授業を受け、クラブ活動で仲間と交流していたことがどれほど有り難い事だったのか、と実感させられたものだった。幸いこの4月から再開した大学でのキャンパスライフは、まさに「ここは私のパラダイス」だったと再認識したが、残念ながら学内でのクラブ活動には大幅な規制がかけられ、今のところコロナ前と同じとはいえないが、それでもその有り難さの度合いはオンラインのバーチャルキャンパスとは比べる由もない。

第12号(2015年6月)に「主人在宅ストレス症候群」のタイトルで、定年退職後に1日中家でごろごろしていると妻の体調が悪くなる、というような話を書いたが、これなど現役サラリーマンにもコロナ禍でテレワーク(自宅勤務)が強いられる毎日が続けば起こり得るだろう、と愚考するのだが果たしてどうだろうか？

そういえば、毎年恒例の第一生命「サラリーマン川柳コンクール」で今年の第1位は「会社へは来るなと上司 行けと妻」だったが、これなど妻の本音だろうなと・・・笑い事ではない

だろうが、自分は早く定年退職を迎えて良かったと本気で思っている。

さて、そのクラブ活動だが、筆者の所属する軽音楽同好会(バンド名「THE GAKU-YOU」)は丁度このけやき便りの発刊予定日(7月22日)に「7周年記念サマーライブ」を兵庫県立芸術文化センター(小ホール)で開催予定である。

ちなみに、バンド名の「THE GAKU-YOU」とは「学友」だけでなく、音楽を通して「楽友」の輪を広げ、あなた(YOU)と一緒にミュージック・ライフを楽しみたい、という意味を込めたネーミングである。



芸文のサマーライブは昨年(関係者限定の小規模開催)に続き2度目の大舞台となるのだが、懸念材料はコロナ禍での集合練習不足である。大学構内立入禁止措置により、それまで練習場所のフランチイズとしていた第1音楽室が使えなくなり、学外に集合練習場所を探し求め、渡り歩くという生活を余儀なくされている。

そんな厳しい現実のなか、主に宝塚や尼崎の公民館を学外集合練習の場所に行っているが、今まで当たり前のように秀逸な音響設備を備えた、第1音楽室を利用出来たことがどれほど恵まれていたのかと身に沁みて感じている。

7月22日(金)の芸文サマーライブ後に間を置かず24日(日)には特別養護老人ホーム「ロ

ータス・ガーデン」から3年ぶりに夏まつり(グルメフェス2022)への出演依頼を受けたこともあり、少しずつ日常が戻りつつあるような空気を感じている。

結成当初よりこのバンドは大学の使命(ミッション)のひとつ「社会貢献」にも参加することを掲げてきたが、このような介護施設でのボランティア演奏がこの夏まつりを機に定期訪問に繋がれば良いな、と期待している。

とはいえ、最近の感染状況をみるとこのまま順調に収束に向かうとは思えないが、欧米のニュースなどを見ていると「コロナ明け」ムードが広がり、その警戒感に国民性の違いを感じてしまう。

第18号(2018年6月)には「冗句、ジョーク、JOKE」と題して、欧米人との国民性の違いを題材にした有名な沈没するタイタニック号のジョークについて書いたが、それは救命ボートに全員が乗り切れず、女性や子供を助けるために何人かが船から飛び降り犠牲になるボランティア?(男性)を船長が募るという架空の話。

初めに英国人を呼び「あなたはジェントルマンだ」と言い、次に米国人には「あなたはヒーローになれる」、そしてドイツ人には「これはルールなのだ」と言うのと皆納得して従った。そして最後に日本人には「皆さん、そうしてますよ」と言うのと周りを見て慌てて飛び込んだというジョーク。なんとも日本人としては笑えないジョークだが、農耕民族がルーツなのだろうか、我々日本人には周りに合わせ横並びで動いていれば無難だという行動習性?があり、自分も含めマスクを外せないという人も多いのだろう。

しかし、その結果感染者数や死亡者数が欧米に比べ桁違いに少ないという理由のひとつなら、これは協調性の国・日本の誇るべき行動パターンだと思うがいずれにしても、この「新型コロナウイルス」騒動が早期に収束し「普通の生活」に戻れることを願うばかりである。

そう言えばドイツ人が「ルール」を守ることには厳格なことで思い出したが、現役の頃、ドイツからの出張帰りに空港チェックイン・カウンターでスーツケースを預けたら、ルフトハンザのブロンド美人のスタッフが重量オーバーだから超過料金を払えと言う。ジョークのつもりで「それはおかしいではないか。先にチェックインした100キロは超えていそうな巨漢と60キロにも満たない私とではトータル重量は遥かに私の方が少ないではないか?」とクレームを言ったら、「ノー! ジス・イズ・ア・ルール」と怖い顔でピシャッと言われた。下手なジョークは言わないほうが良いな、と思いながら超過料金を払ったが、そんな話を居酒屋談義で先輩に話していたら、「オマエねえ、そんなときは靴の爪先を秤の下に入れて浮かすんだよ」と言われたが、あれも冗談だったんだろうか。

このバンド創設期からの歴史(大げさだが)や周辺情報は「シニア専修コース」オンラインキャンパス「けやきのわ〜シニア受講生のための交流ブログ〜」の「けやき軽音楽同好会」に掲載しているので、ご覧頂ければ幸いである。

<http://saturn.sonoda-u.ac.jp/~senior/seniorkeyaki2/category/けやき軽音楽同好会/>

既述のように未だ先行き不透明なコロナウイ

ルス感染状況から学内でのクラブ活動は認められていないが、大学当局には規制緩和をご検討頂き、早期にフルスペックの「パラダイス」復活をお願いしたい。

国田学園女子大学 シニア専修コース 軽音楽同好会
「THE GAKU-YOU」
7周年記念サマライブ
2022 7.22 (金) 兵庫県立芸術文化センター
開演: 14 時 神戸女学院小ホール
(開場: 13 時 30 分) (原金西宮北口駅 南改札口スグ)
・入場無料 全席自由 主催: 国田学園女子大学 シニア専修コース
・予約制 (詳細下記) 軽音楽同好会「THE GAKU-YOU」

演奏予定曲 (全20曲程度)
「夢のかけはし」 山崎真由美 (ゲストアーティスト)
「風に吹かれて」 「1/2」 山崎真由美・山崎真由美・山崎真由美
「ダイアログ」 「恋は突然」 山崎真由美・山崎真由美・山崎真由美
「恋は突然」 「恋は突然」 山崎真由美・山崎真由美・山崎真由美
「恋は突然」 「恋は突然」 山崎真由美・山崎真由美・山崎真由美
「恋は突然」 「恋は突然」 山崎真由美・山崎真由美・山崎真由美
(注) 演奏曲は変更する場合があります。

「事前予約(希望)のご案内」 締切: 7月8日(金)
【在学生(シニア専修コース)】 「予約」のいずれかよりお申し込みください
A 軽音楽同好会から送る案内メールに「お名前と所属(学部・学年) (研究生は卒業生)」をご記入のうえ返信ください。【ご招待の方があれば、一緒にご記入ください】
B 希望のライブチケットを「希望」の欄に記入してください。軽音楽同好会からの案内メールに「希望のライブチケット」を記入してください。
C 「希望」の欄に「希望」の欄に記入してください。軽音楽同好会からの案内メールに「希望のライブチケット」を記入してください。
D 「希望」の欄に「希望」の欄に記入してください。軽音楽同好会からの案内メールに「希望のライブチケット」を記入してください。
(注) 希望のライブチケットは、希望のライブチケットを希望のライブチケットに記入してください。

【一般招待者(学部の方)】
軽音楽同好会から送る案内メールに「お名前」をご記入のうえ返信ください
① ご招待の方があれば、一緒にご記入ください
② 国田学園女子大学(原)の方はその旨お知らせください
(注) 希望のライブチケットは、希望のライブチケットを希望のライブチケットに記入してください。

「当日入場のご案内」
小ホール内受付でお名前をお知らせください。【事前登録者】と確認後に入場できます

「国田学園女子大学(原)の方への案内」
① 国田学園女子大学(原)の方への案内は、希望のライブチケットを希望のライブチケットに記入してください。
② 国田学園女子大学(原)の方への案内は、希望のライブチケットを希望のライブチケットに記入してください。
③ 国田学園女子大学(原)の方への案内は、希望のライブチケットを希望のライブチケットに記入してください。
(注) 希望のライブチケットは、希望のライブチケットを希望のライブチケットに記入してください。

塚口南地域学習館で

つながり 学びあう



「よもやま話の会」報告

研究生 三木 静子

第13回 木村英助さんが案内

「兵庫津ミュージアム」見学

2021年12月15日

このミュージアムは見学の1カ月前にオープンしたもので、150年前に設置された兵庫県の初代県庁の復元です。この庁舎は1868年、海上交通の要衝である「兵庫津」にあった旧大坂町奉行所兵庫勤番所に置かれました。当時を伝える絵図をもとに、初代知事・伊藤博文の執務室や裁判が行われた吟味場（お白州）、犯罪容疑者を拘留した仮牢などが再現されていました。

ミュージアムは江戸時代の「兵庫津」の中に再現され、周辺には兵庫津に関連した遺跡も数々あります。この「兵庫津ミュージアム」を見学し、江戸時代から明治に変わる動きや兵庫



県の発展を知るとともに、歩いて「兵庫津」を体感しました。

第14回 酒井恵理子さん

「高齢者向け住宅」の話

2022年1月19日

酒井さんは消費生活マスター介護問題研究の会員として、研究を重ねてこられました。その

研究会はこれまでに、サービス付き高齢者向け住宅（サ高住）について、『サ高住の探し方』、『サ高住の決め方～より良い住まい契約のために～』などのリーフレットを出版していますが、酒井さんはその執筆者の一人です。

「サ高住」は多種多様な形態があり、立地・広さ・サービス・特徴など、さまざまな「サ高住」の

中から自分に適した一つを選ぶ難しさは、優良老人ホーム以上だそうです。



「サ高住」のお話を、有力出演者と共に紙芝居で演じていただきました。「サ高住」に入居する・しないに関わらず、私たちの今とこれからの暮らし・住まい・生き方を考えるヒントがいっぱい詰まった話になりました。

第15・17回 松山利夫先生

「木の實の話」の話

2022年4月15日・6月15日

1回目の副題は「研究の展開と日本の事例」で、先生の研究テーマであった「日本の山村（山間の小集落）の社会と生活」で、農村付属型狩猟生活の実態調査および研究をされたことの話がありました。

さらに現代の狩猟採集社会のフィールドを、オーストラリア北部のアボリジニに求め、そこを選んだ理由や調査に入るまでの苦労話、多文化共生の視座をえられたことなどを話されました。

2回目の副題は「日本から世界のドングリ事情へ」で、山村地域ではドングリが主穀物の不足を補う食料であり、多くはアク抜きに水晒しや加熱処理が必要であったといえます。

木の実には、クリ、クルミ、トチノミ、ドングリなど数種類があり、中でもドングリは世界の中緯度温帯森林地帯に分布していること。さらに、日本のドングリの種類は、ブナ科の堅果類（堅い皮や殻に包まれた食用の果実や種子）で、東北日本のナラ林帯（コナラ、ミズナラ、クヌギなどの落葉広葉樹林）と、西南日本の照葉樹林帯（シラカシ、アラカシ、マテバシイ、スダジイなどの常緑広葉樹林）に分布していることの2点について、資料を示しての話がありました。



松山先生の2回の話から、園田シニア専修コースでは、「江戸時代における農山村の暮らしと食生活の実態を探る」として、米沢藩の飢饉に備えた救荒食『かてもの』、名越左源太の観た幕末の奄美における島民の生活『南島雑話』の講義につながっていることがわかりました。

第16回① 早田周一さん

「映画の歴史と観方」の話（2回目）

2022年4月20日

昨年11月に開催した11回で早田さんから、

映画の歴史とカメラアングルなどを通して映画の観方の話を聞きました。前回は、ダスティン・ホフマンが出演した映画『卒業』の話で終わっていました。

今回はその続きで、映画とカメラと音の話や、ヒッチコック映画の楽しみ方、映画館と映画、淀川長治と映画などについて、早田さん自作の資料を見ながら話を聞きました。



第16回② 橋本秀明さん

ハーモニカの話と演奏

小学校2年生の時にハーモニカと関わり始め、今も楽しんでいることから話が始まりました。

1821年ドイツ人が開発し、日本には1890年代（明治20年代）に伝えられたこと。日本での製造は1916～1917（大正5～6）年からであること。安価で手軽に音が出せる楽器として昭和初期にかけ一般大衆の間に広まったが、昭和40年代に一時廃れたなど、ハーモニカの歴史を知りました。

最後には、「四季の歌」「荒城の月」「故郷」「岳



人の歌」など懐かしい曲の演奏がありました。

会の終わりには参加者から、感想や質問、さらに近況を話すなど、交流を深めてきました。コロナ禍の下、対策を講じながら、つながりと学びあうことをめざしてきました。

《ざっきちょうから》

☆彡

韓流ドラマ

☆

研究生 金森 扶美子

長年ケーブルTVのエコノミープランに加入してきた。私は映画やドラマしか見ないから、スポーツやコンサートの類を削って安くならないの？と冗談を言っては拒否されてきた。

ところがコロナの始まりと同時期に同じ料金でそれを削ってNetflixが入れますよときた。「愛の不時着」が話題になっていたからそれが見れるのはなんと嬉しいことかと早速入れてもらった。

それまでも韓国の歴史ドラマは見てきた。「チャングムの誓い」や「イ・サン」など特に李王朝ものである。「王と妃」なども韓国歴史上学ぶべきことがあった。でも現代ドラマは少々軽蔑視していたところがある。ちらと見るに財閥を主とした煌びやかな生活、服装、ドロドロした愛憎劇、とても現実離れたものでみる気になれなかった。

ところが「愛の不時着」に始まり何本か見る現代ドラマはなかなか捨てたもんじゃない。初めのうちは欧米ドラマを見ていたのだが、だんだん韓流ドラマにのめり込んでいた。顔だちも似てるし、少々うるさい感じはあるが、情動的に真面目で同調できるところがあるので、同じアジア人としてとても素直に入り込める。

Netflixのいいところは、まずCMが入らない。じっと長時間座って見ている必要はない。時間を区切ったり、用事で中断して何日経ってもその続きが見れるし、見逃したところは遡っても見れる。忙しい主婦にはもってこいである。これでもかこれでもかというくらい次々に新作が出て、選ぶのに苦労する。

けれど韓流ドラマを見ていると言うと、なんとなく軽蔑的な視線を感じるときが今もってあ

るのは否めない。だから話の合う仲間が見つからないから感想を共有できなくて淋しい。

だがここきて、カンヌ国際映画祭で日本の是枝裕和監督の作品「ベイベー・ブローカー」で主演のソン・ガンホが主演男優賞を取り一躍有名になった。その是枝監督が韓国で撮った映画である。なぜ？監督曰く、韓国映画・ドラマ界の質の高さに目を見張るものがあり、何本も観た。シングルマザー役の女性もドラマ「マイ・ディア・ミスター〜私のおじさん」に出ていたイ・ジウン（IU）を見て決めたそうだ。

また最近の新聞でミュージシャンの松本隆も“韓国ドラマの水準の高さに目をみはる。テーマ性、俳優の演技力、カメラワーク、音楽、そして一番重要なのは脚本。よく練られているし、普通の会話の場面もとてもいい。作り手の気迫もすごい。国力が文化に表れる”と書いている。私の言いたいことをみんな言われてるが、本当に伏線がたくさん含まれていて、コミカルな場面も忘れず、飽きずに長くても次が見たい衝動にかられる。もちろん全部のドラマがそうとは言わないけれど。

初めて観た韓国映画は1993年、「風の丘を越えて／西便制」でパンソリが印象に残った。また1980年の光州事件を扱った「タクシー運転手 約束は海を越えて」のソン・ガンホの演技と歴史を知る。ドラマでは「ミセン（未生）」、前出の「マイ・ディア・ミスター」、最近では「私たちのブルース」などありすぎる。

ただ馬鹿みたいにダラダラ韓流ドラマを見ているのもどうかと反省して、今は話す言葉があまりにも日本の熟語と発音が共通していることがわかって（例えば正直、約束）、ハングルの言葉が可愛いくて（サラゲー＝愛してる、ミヤネー＝ごめん、ケンチャナー＝大丈夫）、また韓国の文化も日本と共通してたり、違っていたりと面白く味わいがあるのでノートに書き留めていくことにしている。

☆彡

☆

文学歴史学科 9期生同期会

研究生 木下 俊造

2022年5月2日、約半年ぶりの同期会開催。まずは4月オープンしたばかりの大阪中之島美術館へ。スタートの大阪駅前バスターミナルへ集合し、10分程度のバス旅。何年ぶりかの方も数名おられ、会場までは14名の語らいタイム。

11時前に美術館に到着し、開館記念特別展 モディリアーニ ―愛と創作に捧げた35年― のチケットを購入。ランチ会場の都合もあって、1時間強の見学時間と、ボリュームの割に厳しい時間設定になりましたが、皆様堪能されたようで一安心。



次のランチ会場、大阪市中央公会堂B1Fのレストランまで、会場設営をしていただける方はタクシーで、自主的に堂島川沿いを20分ウォーキングされた方は、当日の暑さもある、それなりの難行になったようでした。



ランチ会場では、名物のオムライスやコース料理など、好みのメニューとおしゃべりで楽しまれ、次回の再会を約し、お開きとなりましたが、帰りに梅地下で放課後学習をされた方も。



放課後学習会イメージ

がたく、年2回程度の開催を目標に、今回来られた方はもちろん、残念ながら来られなかった方も、皆様元気でお願いします！

私の作品 絵とことば

研究生 今西 信子



私の作品 水彩画

国際文化学科1年 山根 邦男



上左 2022.2.19 清水寺

上右 2022.4.14 明日香村

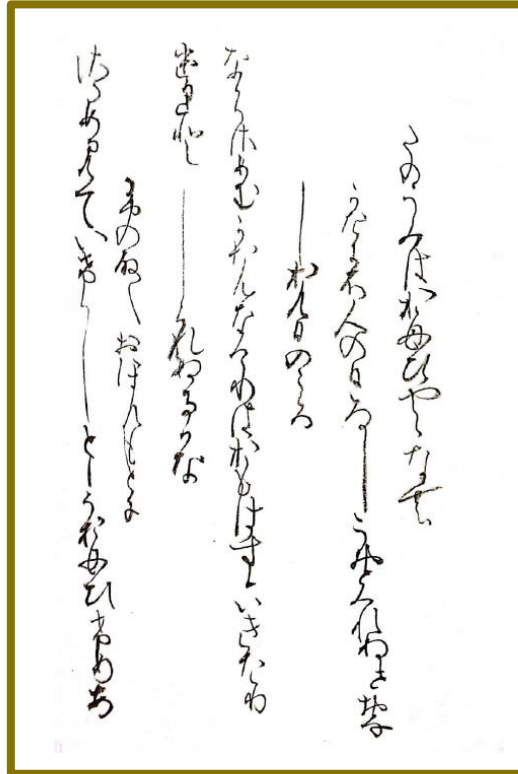
中央 2022.5.19 八甲田山

下 2022.3.14 あづみの公園

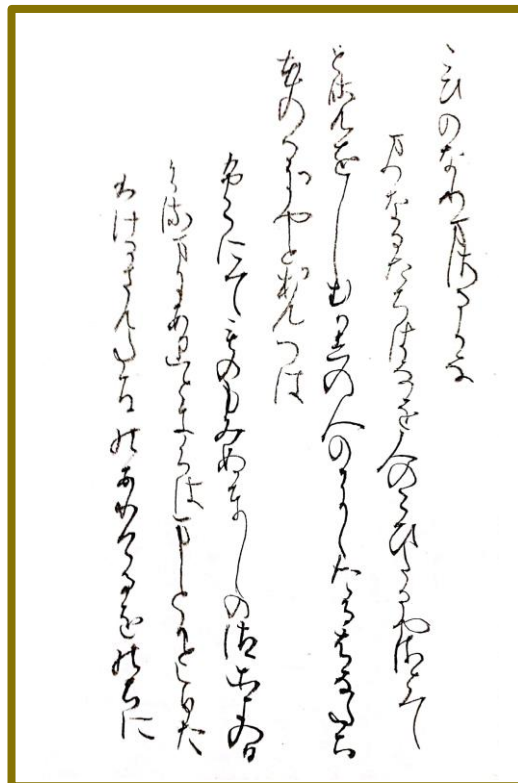
私の作品 和泉式部続集切 (臨書)

研究生 大東 真知子

たのうみはおもひやらなむ
かたらふ人のひさしうおとづれぬをおな
じおもひのころ
なぐさめむかたもなければおもわずにいきたり
けりとしられぬるかな
ふの殿、おほんもとに
さるめ見ていけらしとこそおもひけめあ



こひのなりまさるかな
まへなるたちばなを人のこひたるやるとて
とるもをしむかしの人のかに、たるはなたち
花のなにやとおもへば
ふくにてもにみぬとしの御そぎのひ、
くるまにありときくはまことかと、日た
りけるきんだちのあるけるを、のちに



大東さんの書
筆を執ること五十年。今は書芸院一科審で、師範の資格を持ち、
広く活躍されています。今回の作品は、和泉式部続集切を千草会
の展示に向け、二年かけて書き上げた大作です。薄い和紙に墨の濃
淡、筆の運びのしなやかさを表現するのに苦労されたそうです。大
東さんからは、書道に興味関心をもっていただいて、書道の文化が
広がってほしい、とのことでした。へ編集クラブへ

私の作品 7月のイメージ

国際文化学科1年 撮影 富田 宏和



北海道・ばんえい帯広競馬と十勝川温泉

道東の夏は短い自然を楽しめる時でもある。ばんえい競馬は北海道開拓時代の農耕馬の力くらべであり、人々に感動と歴史を引き継いでくれる。十勝川温泉も道東にあり古来より薬の湯としてアイヌ民族から語り継がれている。



沖縄・竹富島の水牛車と川平湾

初夏の八重山諸島竹富島での水牛車は心地よい三味線を聴きながら時間が過ぎるが、本土より遅く1時間でも一日ぐらいに時が流れていく。石垣市内から北に進むと川平湾がある。グラスボートからは珊瑚や色鉛筆のような魚たちが迎えてくれる。



長野県飯山市「うなぎ専門店 本多」
飯山市の「うなぎ専門店 本多」は地元の方はもちろん全国各地からのファンも多い。斑尾高原・妙高高原・野尻湖が近くにあり春夏秋冬楽しめる。



兵庫県宝塚市「宝塚 うなぎ」の鰻
「宝塚うなぎ」はホノルルでハワイ寿司を開いている方のお店で新鮮な鰻を見る目は引けを取らない。各地からのファンも多い。



大分県豊後大野市清川町の石造単アーチ橋と大分名物「だんご汁」
大分県豊後大野市清川町の大野川水系奥岳川に架かる石造単アーチ橋で「出会橋」と言われている。空気・透明な水や青空に癒される。近くの国道沿いには大分名物「だんご汁」の店が山の合間に隠れるようにあり、昭和の味がする。心も身体まで温まる逸品です。

私の作品 絵とことば

研究生 伊藤 幸子



「遊歩クラブ」令和 4 年度スタート

研究生 中村 米三郎

「シニア専修コース」は、令和 4 年度から対面で授業が開始されることになり、それに応じて「遊歩クラブ」もクラブ活動を開始しました。

ただ、昨年末近くにはコロナの感染状況は少し穏やかになったため、昨年 11 月に 67 回例会「嵐山を歩く」、今年 4 月に 68 回例会「大阪城で花見」を行いました。

1. 令和 3 年度末の会員を確定しました。会員数は 104 名でした。「遊歩クラブ」の令和 4 年度は、この方々とスタートします。

2. 令和 4 年度の「例会等の行事」の計画を検討するため、5 月 16 日に「遊歩クラブ運営委員会」を開催して、令和 4 年度の例会（予定）を決定し、「遊歩クラブ」会員に連絡しました。

「令和 4 年度例会予定」

NO	月	例会行き先
69	6	奈良きたまちを歩く
	7	暑さのため例会は休み
	8	暑さのため例会は休み
70	9	奈良西の京を歩く
71	10	廃線ウォークと宝塚西谷芋掘り
72	11	紅葉 貴船神社、鞍馬寺
73	12	忘年会神戸オリエンタルホテル
74	1	初詣 八坂神社、高台寺
75	2	観梅 坂本盆梅展、日吉大社
76	3	富田林寺内町&竹内街道を歩く
77	4	花見 京都府立植物園

コロナ対策のため、昼食は、屋外で弁当を持参してとりますが、12 月忘年会はホテルでバイキング、1 月初詣は参加者が各自昼食を取ってから集合することになっています。

3. 6 月 4 日、69 回例会「奈良きたまちを歩く」を行いました。参加者は 31 名で、当日の天候は、

圧倒的な快晴（降水確率 0 %）、気温 29 度、無風で非常に暑い日でした。

11 時近鉄奈良駅に集合、若草山（昼食）、東大寺転害門、北山十八間戸、般若寺、植村牧場、旧奈良少年刑務所を巡り、般若寺バス停から近鉄奈良までバスに乗り 16 時 15 分頃解散。

昼食後、若草山を歩きました。



東大寺転害門（国宝）で記念撮影です。



般若寺は夏コスモス・アジサイが見頃でした。



旧奈良少年刑務所（重文）で記念撮影です。



第 69 回例会「奈良きたまちを歩く」の記録は、6 月 5 日投稿の「ブログ」をご覧ください。

新「オンライン勉強会」でスタート

ITを楽しむ会

研究生 中村 米三郎

1. 「オンライン勉強会」の実施

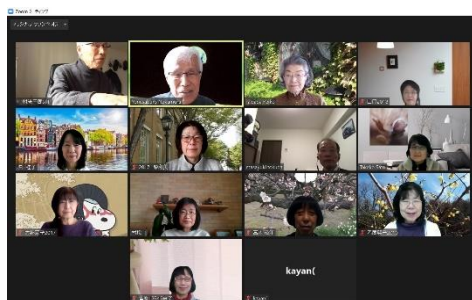
「コロナ」前までは、「けやき IT を楽しむ会」の勉強会は、2 号館 205 号教室で行っていました。参加者はパソコン持参の勉強会で、特に雨の日には大変なご苦労をおかけしていました。

コロナの感染状態が拡大し、「シニア専修コース」も休学になり、当然「けやき IT を楽しむ会」の勉強会も休みになりました。

「コロナ」の感染とともに、社会ではパソコンの「ZOOM」ソフトを使った「テレワーク」が増えてきました。

「けやき IT を楽しむ会」の勉強会もこの「ZOOM」を使って、2020 年 6 月から「オンライン勉強会」を開始しました。

2022 年 4 月から「シニア専修コース」は対面による授業を開始されましたので、それにともない休講中に行っていた「オンライン勉強会」も 2022 年 3 月で終了しました。



「ZOOM」による勉強会の風景

2. 新「オンライン勉強会」の開始

2022 年 6 月から、「A コース」「B コース」の 2 コースを設けて、新たに会員も募集して新「オンライン勉強会」を開始しました。

両コースとも勉強は、「シニア専修コース」の授業を考慮して火曜日（10 時 30 分～12 時）に「ZOOM」で行いました。

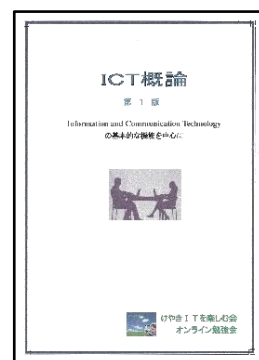
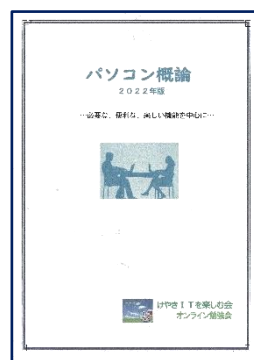
「ZOOM」による勉強会なので、参加者は「コロナ」前までは、205 号教室にパソコンを

持参というご苦労をおかけしていましたが、「ZOOM」の利用でやっと解消できました。

3. A コース（実用コース）…第 1, 3 火曜日

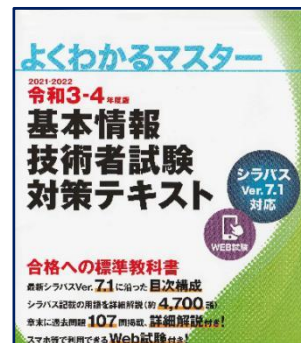
私は、IT に 55 年以上（文末を参照）、パソコンに 25 年以上携わってきましたが、そこからの経験をもとに必要な・便利な・楽しい知識とは何かをまとめてみました。

また、パソコン教室を永年行っていたので、多くの「テキスト」を作成してきました。今回は、最後のテキストになると思い、その気持ちを持ってテキスト作りを行っています。



4. B コース（基本コース）…第 2, 4 火曜日

IT から ICT（Information & Communication Technology）に移り変わっていますので、ICT の基本的な、幅の広い知識を国家試験「基本情報技術者試験」から、ハード、ソフト、ネットワーク等に関する過去の問題（午前部）を解き、解説していくことで知識を得ています。



昭和 40 年 10 月頃、第 2 世代電子計算機 IBM1440 を操作する筆者

カーリング精神

けやきテニス同好会

国際文化学科2年 鈴木 好夫

「カーリング精神」をご存知でしょうか？

冬季オリンピックの平昌、北京と2大会でメダル獲得に輝いた女子カーリングチーム「ロコ・ソラーレ」は「そだねー」「もぐもぐタイム」など、まだ記憶に新しいところです。

「日本カーリング協会」の競技規則の冒頭に書かれているのが「カーリング精神」です。原文は「世界カーリング連盟」の英文ですが、それぞれの国の言語に翻訳され使用されています。全文は長いので中間の部分だけを抜粋して記載します。

❖ カーラーは勝つためにプレーしますが、決して相手を見下したりしません。真のカーラーは相手の気を散らしたり、相手がベストを尽くそうとするのを決して妨げたりしません。不当に勝つのであればむしろ負けを選びます。カーラーは、ゲームの規則を破ったり、その伝統を決して軽視したりしません。不注意にもこれが行われていると気がついた場合、その違反を真先に申し出ます。カーリングの主な目的が、プレーヤーの技術の粋を競うことである一方、ゲームの精神は立派なスポーツマンシップ、思いやりの気持ちそして尊敬すべき行為を求めています。❖



カーリング競技をオリンピックで、ご覧になられたかたも多いと思いますが、ジャッジをする審判はいません。ゴルフなどとも同様かと思いますが、互いの選手が協議し了解してゲームを進めていきます。

テニスなどの球技スポーツの多くは、ボール

の「IN、OUT」の判定が時には勝敗に大きく影響することがあります。ボールの見える角度や速度が速い場合、判断が難しく、どうしても欲目で自分有利になりがちです。特にテレビ観戦では最良チームや選手を有利に見てしまいがちです。

大相撲では以前から「物言い」がつくと審判がビデオ確認を行っています。近年、テレビ放送されるスポーツではきわどいプレーの場合、監督か選手のアピール（チャレンジ）が採用され、ビデオやビデオをもとにしたCG映像が大画面に映し出されるようになりました。

「日本テニス協会」では、審判のつかない試合の場合「セルフジャッジの五原則」を呼び掛けています。

**セルフジャッジ5原則の
順守と推進のお願い**

公益財団法人日本テニス協会

プレイヤーの皆様、保護者、指導者そして大会主催者の皆様には、チェアアンパイアがつかない大会で正しいセルフジャッジを目指し、次のセルフジャッジ5原則の徹底とご理解をお願いします。

セルフジャッジ5原則

- ① 判定が難しい場合は「グッド」(相手に有利に)！
- ② 「アウト」または「フォルト」はボールとラインの間に、はっきりと空間が見えたとき！
- ③ サーバーはサーブを打つ前、レシーバーに聞こえる声でスコアをアナウンス！
- ④ ジャッジコールは、相手に聞こえる声と、相手に見えるハンドシグナルを使って速やかに！
- ⑤ コートの外の人には、セルフジャッジへの口出しはしない！

「セルフジャッジ」では「IN、OUT」の判定は間近な選手が行い、判定が難しい時は相手有利にします。審判のいない試合で行われる正しい「セルフジャッジ」にこそ「カーリング精神」が必要であるように思います。

「けやきテニス同好会」では出来るだけ試合時間を多くし、プレーを楽しんでいます。

試合中は真剣に勝つことに、こだわり戦い続けますが、終わればシニア特有の物忘れで勝敗の結果はどうでもよくなります。

テニスの後は反省会を行い、みんなで飲み物片手に、珍プレー好プレーのあれこれを話し合うことも活動の一環としています。



芸文ライブ(7月22日)までの道のり

軽音楽同好会 研究生 木村 勲

これまでの活動を振り返り

2年以上コロナ禍の中、軽音楽同好会の活動休止状態が続き、これまで活動してきたのが夢のようなことばかりでした。

- ・新入生歓迎会での演奏
- ・春の練習成果発表会
- ・けやき祭で屋外ステージや屋内ステージ演奏
- ・年末の練習成果発表会ではクリスマスライブなど多くのシニア生に参加していただき、忘れられない思い出に残るシーンばかりでした。

モチベーションをキープ

学外でも定期的にボランティア演奏を続け、園田学園女子大学シニア専修コースを少しでも知っていただこうと出かけていきましたが、残念ながらコロナ感染が広がり、すべてが活動休止となり、部員のモチベーションをどうしてキープするかが問われました。そんな時でも我が部員は、いつかその時が来ることを信じ、個人練習に励んでくれました。

千載一遇のチャンス

演奏活動がないなら、これまで出来なかったことを細かく練習してみよう！一曲にかける練習時間とこれまでなおざりにしてきたことを徹底的に修正してみよう！と練習をしてくれた部員たちのプラス思考には頭の下がる思いでした。これまでの人生で、こんな機会はなかったと思えば、次のステップの足掛かりになると信じて、希望達成へ邁進出来ることを、改めて教えられました。

光明差す日が来る

今年になり、以前のように少しでも戻そうという世の中の変化を感じるようになり、学校も4月より開講となり、たれこめた暗雲から一条

の光が差し込み、ほのかな希望の持てるのを実感させてくれました。

これまで、多くの人に支えられ、ご協力をいただき、活動してこれたことに感謝の気持ちでいっぱいです。

兵庫県立芸術文化センター

神戸女学院小ホールでサマーライブ決定

2019年ピッコロシアターのサマーライブ後、来年はどうか部員の中からも意見が出ましたが、「私としては芸文小ホールでやりたい」と伝えました。

小ホールは、舞台を観覧席が取り囲むアリーナ形式のホールで、出演者と観客とが一体になり、音響関係は芸文設備を使用し、芸文スタッフが携わってくれることからお客様に満足のいく音響を楽しんでいただけるのではないかと思います。メンバーの賛同を得ました。

<そもそも、何故、芸文なの？>

これまで数多く観てきたコンサートホールで、私の中では軽音楽同好会で行なってみたいホールの候補として挙げていました。

これまでは舞台から観客席を見下ろす演奏でしたが、逆に小ホールは舞台から観客席を見上げる形式で、これまでと違った楽しみ方をしていただけるのではないかと思います。

また、我々のようなバンド経験のない者たちが集まり出来た軽音楽同好会が、芸文でライブをするなんて夢のようなことで、「いずれ芸文で」を合言葉にシニアでも希望を持てば、「今からでも出来るんだ」という強いメッセージを送りたいからです。いつまでも夢と希望を持ち続けることが出来ればと念じております。

そして、参加していただくシニア生の交流の場として活用いただければと思っています

国・県の施政に従い実施

まだまだ急激な感染減少は見られませんが、国、県の方針をしっかりと確認しながら軽音楽同好会サマーライブを実施させていただきます。

けやきゴルフ同好会

文学歴史学科3年 福島 久雄

令和2年4月発足した「けやきゴルフ同好会」は発足と同時にコロナウィルスの影響で半年ほど活動を休止していたが、その年の秋に2回、令和3年度は7回ゴルフコンペを開催した。

令和4年度は4月5日に第1回けやき会ゴルフコンペを三田市にある三田レークサイドカントリークラブで6人が参加して開催。桜が満開に咲き乱れる中、飛び入り参加の岩本さんがグロス99、ネット72.6で優勝した。

また、6月28日には第2回けやき会ゴルフコンペを小野市にある小野グランドカントリークラブで開催。一人キャンセルがあったため参加者は6人。



梅雨時とは思えない晴天の中、熱中症にならないように麦茶を入れた水筒とスポーツドリンク入りの冷凍ペットボトル、氷を入れた氷嚢を保冷バッグに詰め込んでラウンド。おかげで厳しい暑さの中無事ホールアウトすることができた。スコアもグロス90、ネット74.4で久々に筆者の優勝となった。帰宅後夕刊を見て近畿地方が梅雨明けしたと知った。統計上最も早く、6月に梅雨が明けるのは初めてだという。今年は長い夏になりそうだ。

今後の予定は、7月13日に北神戸ゴルフ場で第3回ゴルフコンペを開催する。その後は8月を除いて12月まで毎月ゴルフコンペを計画している。飛び入り参加も大歓迎なので、一緒にゴルフをやってみたい方は下記にご連絡ください。



<連絡先>

「けやきゴルフ同好会」幹事 福島 久雄

080-4560-2117

けやきカラオケクラブ

1000 曲超え

研究生 木下 俊造

2014年「あ々人生に涙あり」のスタートから8年を経過し、2022年5月の例会で、歌唱曲目数が1000を超え、総歌唱回数も2400に近づいています。この中には、一人で同じ曲を40回も歌われた猛者もおられ、35回も同じ方です。

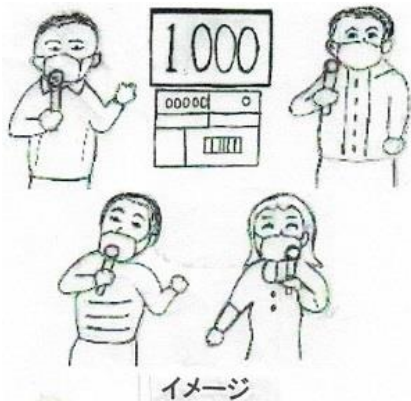
創部以来のモットーは、ゆる〜い雰囲気、少しの時間でも、出入り自由、おしゃべり自由ですが、おしゃべりされている方も意外とよく聞いておられ、それなりのパフォーマンスがあるにこしたことはなさそうです。

本年は久しぶりに4名の入部者に恵まれ、皆様素晴らしい歌唱力をお持ちの大物新人デビューとなりました。

例会は授業の都合等を考慮し、月曜・水曜のどちらかで実施していますので、センター前にあるクラブチラシや「けやきのわ」案内を見ていただければありがたいです。

前期は密を避けるため2部屋を確保し、4・5・6・7月に4回の例会をおこない、後期は夏休み終了直前から再スタートを予定しています。感染状況が落ち着き、後期も順調に開催できればと願っています。

6月は1000曲記念パーティ、7月には暑気払い、後期も時折おりの企画で皆様に楽しんでいただくつもりです。興味をお持ちの方は少しの時間でも、「雨ニモマケズ、風ニモマケズ、周リノオシャベリニモマケズ」歌っておられる世界を、一度覗いてみてください。



イメージ

朗読倶楽部に入って

研究生 高橋 京子

園田のシニア専修コースに入ったら、クラブ活動をしようと思っていました。これから写真を撮っていくのもいいなあ、コーラスで歌うのも楽しそう、と思っていたのですが、どちらもクラブ説明会に都合が悪くて行きそびれてしまいました。

でもどこかに入りたいと、ちょうどその年に発足した「遊歩クラブ」と「カラオケクラブ」へ、クラスの人達と誘い合わせて入部しました。

「遊歩クラブ」は大人の遠足だと楽しんでいましたが、足が弱いので行先が限られてしまうのです。「カラオケクラブ」のほうも、人前で歌うことにどうしても気後れしてしまうので、だんだん足が遠のきました。

何かできるものはないかと思っていたところ、朗読のクラブが活動をしていることを知りました。同じ声を出すのでも、歌うよりは読む方が易しいのではと入部させてもらい、新入生歓迎会の席で、それで入りましたと言うと、部長さんから「甘い!」と声が掛かりましたが、やはり歌うより易しいのです。奥の深さはまだわからないのですが……。

年に2回のミニ発表会、けやき祭への参加は学生気分満喫のイベントです。

ここ2年間は新型コロナウイルスのせいで、ZOOMでの活動になりました。ITのスペシャリストが部員におられるので、学校が休校中でもオンラインで顔を合わせることができました。取り上げる作品も順番にみんなで選んだので、その選択も興味深く、またひたすら音読し聴くので、作品をじっくり味わえた気がします。

この4月からシニア専修コースが再開されました。学内でのクラブ活動はまだ許可されていないので、ZOOM組と塚口南地域学習館での対面組とに分かれて、現代語訳「平家物語」で朗読倶楽部活動再開です。楽しみ!



令和4年度からユニット制がなくなり社会連携推進センターは、生涯学習、研究支援、地域連携の3部門を担うこととなりました。生涯学習は公開講座、シニア専修コース、移動公開講座に加え、リカレント教育にも注力することとなりました。研究支援は共同研究、動物実験、受託研究、研究倫理を進めることで、教員の研究の量、質の向上を推進し、授業だけでなく公開講座への効果が高まるようにと配慮していかなければなりません。地域連携では、地元的一般市民の方々、尼崎市、阪神間、兵庫県、商工会議所や企業との連携に加えて地(知)の拠点として地域の知のプラットフォームの役割を担っていかなければなりません。

思い起こせば先々代の理事長一谷定之丞先生が、これからの大学はブロック塀に囲まれた自己満足の学問の府であってはならない。「開かれた大学＝学問は学内の中だけではない地域と一緒に学ぶもの」としてブロック塀を生垣にし、正門からケヤキアベニュー、万葉の庭を整備されました。3号館の図書館整備は当時もっともユニークで先進なものとして各新聞に取り上げられていました。特筆すべきことは近松研究所の設立です。世界に唯一の近松門左衛門の研究所として阪神間の文化の象徴となり、尼崎に文化の種を植えられたのです。その後、大学の中だけが学修の場ではない、塚口の街、地域での活動やまちづくりへの参画などからも学生が学び、地域社会が学生を見守ることで双方の学修が成り立つという理念のもと「キャンパスシティ塚口」の構想を先代の一谷宣宏理事長がたてられ、地域における本学の社会教育の在り方を明確に示されたことは、PBL型教育(Project Based Learning・課題解決)から経験値教育への進化だと確信しています。

「経験値」当初この言葉は本学においては、

社会連携推進センター所長 榎本 匡晃

偏差値に対する単なる標語でしかなかったのですが、経験値とは…。経験値教育とは…。の問いを研究会の立ち上げをして考察し、教育的に理論づけられたのは人間教育学部長の芹澤剛教授です。今では「経験値教育」の標章登録も行われており、本学の教育において大切にされている教育方針です。学生は大学に入って専門知識を得、実習によってその知識を試し、卒業後社会において、大学で学んだ知識や技術を知恵に代えて困難や課題をどう乗り越えるかを考え抜いて生活していています。実社会では専門分野以外のことについても理解を深めていかなければなりません。よって1年次生では「大学の社会貢献」で実社会の現状を理解し、大学2年次生では「つながりプロジェクト」で他学科の学生とともに社会の課題に向き合うPBL型授業を展開しています。

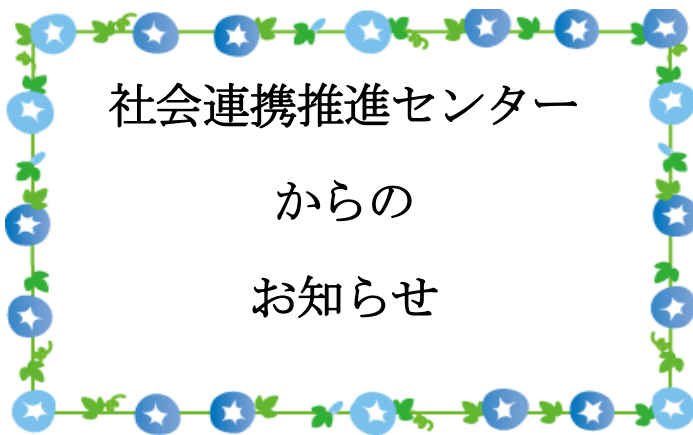
さてさて上記の歴史から理念を引き継いでシニア専修コースは、本学名誉教授田辺眞人先生により2002年に開設されました。数名の文学歴史学科の受講生から始まり、国際文化学科、情報学科と徐々に受講科目を増やし、現時点に至っています。今後はシニア専修コースの3学科はもちろん継続していきますが、それに加えて「凛としてしなやかに～地域とつながる女性応援～」として女性に特化したリカレント教育や学科構成に則した講座などを計画してまいります。皆さん方の学修の幅が広がるよう、社会地域に学修の場の提供を行えるよう生涯学習の発展を目指していきますので、今後ともご協力のほどお願いいたします。

▶『春風 一谷定之丞の生涯』

1975年から1989年まで、園田学園理事長だった一谷先生の追悼集表紙

(上の写真は学校HPより)





1. 2022 年度後期公開講座再開決定

今年度4月から再開したシニア専修コースに続き、後期より公開講座を再開することが決定しました。講座数、定員数、授業日数など縮小しての再開ですが、皆様のお申込みをお待ちしております。

申込み方法：8月23日(火)10:00～
ホームページ受付のみ

2. 特別公開講座開催【講師：吉村 稔先生】

シニア専修コースを20年もの長きに渡り支えてくださった吉村先生の、1日限りの特別公開講座を企画いたしました。

日程：10月6日(木) 14:40～16:10
テーマ：「石原慎太郎・文学を礎として」
ー自我を本質としたその＜文学＞ー

定員：50名

受講料：1,500円(当日支払い)

申込み方法：8月23日(火)10:00～
ホームページ受付のみ

3. 本学リカレントプログラムが採択されました。昨年度に引き続き、本学は文部科学省 令和3年度補正予算「DX等成長分野を中心とした就職・転職支援のためのリカレント教育推進事業」に採択され、以下のプログラムの開講が決定されました。

「凛としてしなやかに～地域とつながる女性応援～育休職場復帰、就職、転職、起業を目指す女性」を対象に募集を行います。

受講料：無料

申込み方法：大学ホームページに掲載。

4. 学園祭「けやき祭」が10月22日(土)、23日(日)に開催されます

去年はオンライン開催となったけやき祭ですが、今年は感染症防止対策を講じながら、来場型の開催へ向けて準備中です。

5. 社会連携推進センターブログ・けやきのわについて (シニア受講生のための交流／クラブ同好会等が運営)

シニア専修コース受講生専用のブログです。シニア専修コースに関する新しい情報が欲しい方、必ずチェックしてくださいね。

6. 体調報告カードについて

日頃より、感染症拡大防止対策についてご協力いただきありがとうございます。

中でも、授業ごとに提出いただく「体調報告カード」は、みなさんの体調確認と非接触確認のためのものとても重要な情報です。

カードを提出する前に体温、座席番号の記入漏れがないか、再確認をお願いします。

7. 大学内中庭にて

社会連携推進センター三嶋さんが尼崎の伝統野菜「尼いも」栽培に挑戦中。秋の収穫が楽しみです。



▶ 編集後記 ◀

▶ 「けやき便り」の読者の皆様、初めまして！
私は本年4月に国際文化学科1年に入学し、あこがれだった「けやき便り」編集クラブに加えていただいた濱口祐一（はまぐちゆういち）と申します。6月の編集会議に初めて参加させていただき、それ以降、編集長に命じられるままに原稿を書き、アンケートによる「新入生誌上座談会」の構成をやり、終盤には文字校正をやりしました。今のところ、編集クラブのお役に立っているのか、邪魔しているのか自分でもわからない状態です。

私自身は気難しそうな白髪ジジイに見えるらしいですが、私の本質は昭和のオヤジギャグを愛するお笑い系の人間ですので、お気軽に声を掛けてください。私の方からも今後、原稿依頼などお願いすることもあるかと思えます。その節はどうかよろしくお願いいたします。

国際1年 濱口 祐一

▶ 2022年春、久しぶりの華やいた気分です。

新入生を迎え、対面授業も再開され、多くの学友にも出会えたからでしょうか。

今号が新入生の投稿やお話しに加え、力作ぞろいの活気溢れる「けやき便り」になったのは、皆様の投稿のおかげと感謝しています。

少し早いですが、次号もまた、思いの溢れた素晴らしい投稿を楽しみにしています。

研究生 木下 俊造

▶ 猛暑となる前の6月19日（日）に「わがまち再発見歴史ウォーキング」で園田地域西部の「食満（ケマ）」のまちを歩きました。食満のケ（食物）マ（間＝土地）と解せられる古代地名であり前方後円墳と思われる食満塚などがあり、歴史を感じた旅でした。

文歴3年 藤原 多計治

▶ 蛍が飛ぶと三好達治の「祖母」という詩が私の中で光ります。

「祖母」 三好達治

祖母は蛍をかきあつめて
桃の実のように合わせた掌の中から
沢山な蛍をくれるのだ
祖母は月光をかきあつめて
桃の実のように合わせた掌の中から
沢山な月光をくれるのだ

毎年近くの逆瀬川を歩きながら草むらの蛍を探します。飛び交うほどいない蛍はかき集めることはできませんが、いつも照らしてくれる月光は永遠を感じながら桃の実のような掌を作って開きます。沢山な月光ならほらっ私にも！

紫陽花が咲いて梅雨の雨に濡れてあつという間に夏休み。沢山な原稿をありがとうございます。第7波コロナや熱中症にも気をつけて、また9月に元気な顔でお会いしましょう！

研究生 西島 登志子

▶ 久しぶりにサザエさんのアニメ版をアマゾンプライムで見て、波平フネ夫妻の年齢が50代前半だったと気づき改めて驚いた！シニア研究生の平均年齢が74.4歳だから、風貌だけの印象でいえば、物凄い違和感がある。マスオさんの会社の同僚でアナゴさんというキャラクターは、なんと27歳という若さであった。

よく言われることであるが、一般的に昔の人々の方が大人びて見える傾向がある。その背景には平均寿命の変化が影響しているらしい。人生100年時代と言われる今、人生の第2幕をどうやって過ごすかということを考えなくては勿体ない。

50歳を超えてからの時間は、ボーッとして暮らすにはあまりにも長い道のりである。園田シニアもこれまで通り対面で授業ができ、待ちに待った「ちむどんどん」するキャンパスライフが、今後も続くことを切に願う。

研究生 酒井 恵理子

▶ **多彩な投稿が溢れた第 26 号**でした。皆さんがご健在であったということです。編集に携われて、誠に幸いでした。引き続き次号の投稿をお待ちします。

コロナで 2 年振りの再会の学友、センターの方々、購買店の職員さんからのご挨拶がありました。

午後の登校の際には、涼やかに墨染めの衣を纏われた講師に、会釈からお声の挨拶となりました。颯爽とした学生さん達に会う事もでき、何ともほっとした気持ちです。

研究生 峠田 桂子

▶ **今号は、いつもより 1 カ月遅い「けやき便り」**春号の発行となりました。大学の開始が、コロナ前より約 1 カ月遅かったこともあるのですが、予想を超えて多くの方から投稿をいただいたということもあり、うれしい誤算でした。

コロナ禍の 2 年間、計 4 回の「けやき便り」は、「電子版」でしか発行できませんでした。今回は大学の印刷協力を得て、100 部の「紙による『けやき便り』」も用意できることになりました。新入生の方々と先生方、そして紙による「けやき便り」を希望される方々にお届けできればと思います。

印刷版を通して「けやき便り」を知り、手に取って読んでいただけることは、編集クラブ員としてはうれしいことです。もちろん電子版には、美しいカラーで挿入図や「私の作品」を楽しんでいただけるという強みがあります。

編集作業をしながら、あらためてどなたの文章や作品にも、その人だけが持つ「らしさ」「味わい」があることを気づかせてもらいました。

投稿というと、つい、文章や作品の上手下手を気にすることもあるのですが、「けやき便り」は私たちシニアにとって身近な、何でも発信できる場です。編集クラブでは、「うまい、へた？ そんな関係なし！」、そんなシニアからの活発な投稿をお待ちしています。

文歴 3 年 櫻井 秀也

「けやき便り」に投稿を！

「けやき便り」では皆さんからの自由投稿をお待ちしています。

1. 原稿について

原稿の長さは自由ですが、目安として、0.5～1 ページ。1 ページ当たりは写真・イラストを含めて本文 1400 字～1600 字程度です。

① 手書きや印刷物で頂く場合

様式は問いません。社会連携推進センター 事務所の「けやき便り」編集クラブの連絡 Box に入れてください。

② パソコンを使用される場合

下記アドレス宛にファイルをお送りください。

hideyasakurai94@gmail.com 櫻井 秀也

③ 写真掲載について

「けやき便り」はウェブ上にも掲載されます。写真付きで投稿される方は、肖像権などの問題が生じないように事前に撮られる方の了解を得ていただくようお願いします。

2. 次の内容を含む投稿はお断りします。

① 宗教・政治に関するもの

② 公序良俗に反するもの

③ 一般常識の範囲を逸脱していて、「けやき便り」編集クラブが、掲載することを不可と判断したもの

3. 原稿は、一部変更・修正をすることがありますのでご了承ください。

① 紙面のレイアウトを整えるため

② 編集クラブで気がついたあきらかな誤記や不適切な表現を避けるため

4. 投稿される方はお名前を書いていただきますようお願いいたします。無記名・匿名・ペンネーム等のご遠慮ください。

「けやき便り」第 26 号は、バックナンバーを含め、以下からご覧いただけます。

<https://00m.in/5AAXq>

スマホでは、右の QR コードからご覧いただけます。

